

2023年度
シラバス
(講義計画)

学校法人 立志舎
京都公務員&IT会計専門学校
【法律社会学科】

昼間部 文化・教養専門課程 法律社会学科[2年制]

頁数	科目区分	必修 選択	授業科目	授業 形態	第一学年		第二学年		授業時数 合計	単位数 合計
					授業時数	単位数	授業時数	単位数		
1	一般科目	選択必修	社会科学概論ⅠB	講義	80	4			80	4
2	一般科目	選択必修	社会科学概論Ⅱ	講義	40	2			40	2
3	一般科目	選択必修	人文科学概論ⅠB	講義	100	5			100	5
4	一般科目	選択必修	人文科学概論ⅡB	講義	80	4			80	4
5	一般科目	選択必修	自然科学概論ⅠB	講義	60	3			60	3
6	一般科目	選択必修	自然科学概論ⅡB	講義	80	4			80	4
7	一般科目	選択必修	社会科学演習ⅠB	演習			80	4	80	4
8	一般科目	選択必修	人文科学演習Ⅰ	演習			40	2	40	2
9	一般科目	選択必修	自然科学演習Ⅰ	演習			40	2	40	2
10	一般科目	選択必修	現代国語A	演習			80	4	80	4
11	一般科目	選択必修	現代国語B	演習			100	5	100	5
12	一般科目	選択必修	論文作文Ⅰ	演習			40	2	40	2
13	一般科目	選択必修	時事研究Ⅰ	講義			40	2	40	2
14	一般科目	選択必修	キャリアデザイン	演習			40	2	40	2
15	専門科目	必修	就職セミナーⅠ	演習	20	1			20	1
16	専門科目	必修	職業実務ⅠA	演習	20	1			20	1
17	専門科目	必修	職業実務ⅡA	演習			20	1	20	1
18	専門科目	必修	職業実務ⅡB	演習			20	1	20	1
19	専門科目	選択必修	職業実務ⅠB	演習	20	1			20	1
20	専門科目	選択必修	職業実務ⅠC	演習	20	1			20	1
21	専門科目	選択必修	職業実務ⅠD	演習	20	1			20	1
22	専門科目	選択必修	職業実務ⅡC	演習			20	1	20	1
23	専門科目	選択必修	職業実務ⅡD	演習			20	1	20	1
24	専門科目	選択必修	数的推理Ⅰ	演習	80	4			80	4
25	専門科目	選択必修	数的推理Ⅱ	演習	60	3			60	3
26	専門科目	選択必修	判断推理Ⅰ	演習	80	4			80	4
27	専門科目	選択必修	判断推理Ⅱ	演習	60	3			60	3
28	専門科目	選択必修	資料分析ⅠB	演習	40	2			40	2
29	専門科目	選択必修	資料分析演習Ⅰ	演習	40	2			40	2
30	専門科目	選択必修	文章研究Ⅰ	演習	20	1			20	1
31	専門科目	選択必修	文章研究Ⅱ	演習	20	1			20	1
32	専門科目	選択必修	適性演習Ⅰ	演習	20	1			20	1
33	専門科目	選択必修	企業研究Ⅰ	演習	20	1			20	1
34	専門科目	選択必修	官公庁研究Ⅰ	演習	20	1			20	1
35	専門科目	選択必修	ビジネス実務	講義	20	1			20	1
36	専門科目	選択必修	トレーニング演習Ⅰ	演習	20	1			20	1
37	専門科目	選択必修	トレーニング演習Ⅱ	演習	20	1			20	1
38	専門科目	選択必修	数的推理演習	演習			100	5	100	5
39	専門科目	選択必修	判断推理演習	演習			100	5	100	5
40	専門科目	選択必修	資料分析演習Ⅱ	演習			40	2	40	2
41	専門科目	選択必修	文章研究Ⅲ	演習			40	2	40	2
42	専門科目	選択必修	社会学	講義			20	1	20	1
43	専門科目	選択必修	教育・心理学	講義			20	1	20	1
44	専門科目	選択必修	トレーニング演習Ⅲ	演習			20	1	20	1
45	専門科目	選択必修	適性演習Ⅱ	演習			40	2	40	2
46	専門科目	選択必修	企業研究Ⅱ	演習			20	1	20	1
47	専門科目	選択必修	官公庁研究Ⅱ	演習			20	1	20	1
48	専門科目	選択必修	コンピュータ演習	演習			20	1	20	1
49	専門科目	選択必修	卒業研究	演習			160	8	160	8
	必修科目		合計		40		40		80	
	選択必修科目		合計		1,020		1,100		2120	
	卒業に必要な		総授業時数		920		800		1720	

科目名	社会科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 |
| 5. 政治：民主政治の基本原則 5 | 45. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 5 |
| 6. 政治：民主政治の基本原則 6 | 46. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 6 |
| 7. 政治：民主政治の基本原則 7 | 47. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 7 |
| 8. 政治：民主政治の基本原則 8 | 48. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 8 |
| 9. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 49. 経済：経済のしくみ (2) 1 |
| 10. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 50. 経済：経済のしくみ (2) 2 |
| 11. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 51. 経済：経済のしくみ (2) 3 |
| 12. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 52. 経済：経済のしくみ (2) 4 |
| 13. 政治：日本国憲法の基本的性格 5 | 53. 経済：経済のしくみ (2) 5 |
| 14. 政治：日本国憲法の基本的性格 6 | 54. 経済：経済のしくみ (2) 6 |
| 15. 政治：日本国憲法の基本的性格 7 | 55. 経済：経済のしくみ (2) 7 |
| 16. 政治：日本国憲法の基本的性格 8 | 56. 経済：経済のしくみ (2) 8 |
| 17. 政治：日本の統治機構 1 | 57. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 |
| 18. 政治：日本の統治機構 2 | 58. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 |
| 19. 政治：日本の統治機構 3 | 59. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 |
| 20. 政治：日本の統治機構 4 | 60. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 |
| 21. 政治：日本の統治機構 5 | 61. 経済：経済の発展と福祉の向上 5 |
| 22. 政治：日本の統治機構 6 | 62. 経済：経済の発展と福祉の向上 6 |
| 23. 政治：日本の統治機構 7 | 63. 経済：経済の発展と福祉の向上 7 |
| 24. 政治：日本の統治機構 8 | 64. 経済：経済の発展と福祉の向上 8 |
| 25. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 65. 憲法：憲法前文～第 103 1 |
| 26. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 66. 憲法：憲法前文～第 103 2 |
| 27. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 67. 憲法：憲法前文～第 103 3 |
| 28. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 68. 憲法：憲法前文～第 103 4 |
| 29. 政治：日本の政治の現状と問題 5 | 69. 憲法：憲法前文～第 103 5 |
| 30. 政治：日本の政治の現状と問題 6 | 70. 憲法：憲法前文～第 103 6 |
| 31. 政治：日本の政治の現状と問題 7 | 71. 憲法：憲法前文～第 103 7 |
| 32. 政治：日本の政治の現状と問題 8 | 72. 憲法：憲法前文～第 103 8 |
| 33. 政治：国際社会 1 | 73. 憲法：法学概論 1 |
| 34. 政治：国際社会 2 | 74. 憲法：法学概論 2 |
| 35. 政治：国際社会 3 | 75. 憲法：法学概論 3 |
| 36. 政治：国際社会 4 | 76. 憲法：法学概論 4 |
| 37. 政治：国際社会 5 | 77. 憲法：法学概論 5 |
| 38. 政治：国際社会 6 | 78. 憲法：法学概論 6 |
| 39. 政治：国際社会 7 | 79. 憲法：法学概論 7 |
| 40. 政治：国際社会 8 | 80. 憲法：法学概論 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学概論Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および現代社会について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 現代の経済社会と経済活動 1 | 21. 現代社会と私たち 1 |
| 2. 現代の経済社会と経済活動 2 | 22. 現代社会と私たち 2 |
| 3. 現代の経済社会と経済活動 3 | 23. 現代社会と私たち 3 |
| 4. 現代の経済社会と経済活動 4 | 24. 現代社会と私たち 4 |
| 5. 現代の経済社会と経済活動 5 | 25. 現代社会と私たち 5 |
| 6. 現代の経済社会と経済活動 6 | 26. 現代社会と私たち 6 |
| 7. 現代の経済社会と経済活動 7 | 27. 現代社会と私たち 7 |
| 8. 現代の経済社会と経済活動 8 | 28. 現代社会と私たち 8 |
| 9. 現代の経済社会と経済活動 9 | 29. 現代社会と私たち 9 |
| 10. 現代の経済社会と経済活動 1 0 | 30. 現代社会と私たち 1 0 |
| 11. 現代の民主政治 1 | 31. 国際社会の動向と日本 1 |
| 12. 現代の民主政治 2 | 32. 国際社会の動向と日本 2 |
| 13. 現代の民主政治 3 | 33. 国際社会の動向と日本 3 |
| 14. 現代の民主政治 4 | 34. 国際社会の動向と日本 4 |
| 15. 現代の民主政治 5 | 35. 国際社会の動向と日本 5 |
| 16. 現代の民主政治 6 | 36. 国際社会の動向と日本 6 |
| 17. 現代の民主政治 7 | 37. 国際社会の動向と日本 7 |
| 18. 現代の民主政治 8 | 38. 国際社会の動向と日本 8 |
| 19. 現代の民主政治 9 | 39. 国際社会の動向と日本 9 |
| 20. 現代の民主政治 1 0 | 40. 国際社会の動向と日本 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

現代社会に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	100	単位数	5
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。また、ことばと漢字についての読み方、意味、書き方、使い方等を学習し、実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-----------------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 日本史：古代 1 | 41. 日本史：昭和時代 (2) 1 | 81. 漢字検定：四字熟語 4 |
| 2. 日本史：古代 2 | 42. 日本史：昭和時代 (2) 2 | 82. 漢字検定：対義語・類義語 1 |
| 3. 日本史：古代 3 | 43. 日本史：昭和時代 (2) 3 | 83. 漢字検定：対義語・類義語 2 |
| 4. 日本史：古代 4 | 44. 日本史：昭和時代 (2) 4 | 84. 漢字検定：同音・同訓異字 1 |
| 5. 日本史：古代 5 | 45. 日本史：昭和時代 (2) 5 | 85. 漢字検定：同音・同訓異字 2 |
| 6. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 1 | 46. 国語：四字熟語 1 | 86. 漢字検定：誤字訂正 1 |
| 7. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 2 | 47. 国語：四字熟語 2 | 87. 漢字検定：誤字訂正 2 |
| 8. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 3 | 48. 国語：四字熟語 3 | 88. 漢字検定：誤字訂正 3 |
| 9. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 4 | 49. 国語：故事成語 1 | 89. 漢字検定：誤字訂正 4 |
| 10. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 5 | 50. 国語：故事成語 2 | 90. 漢字検定：漢字と送りがな 1 |
| 11. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 51. 国語：故事成語 3 | 91. 漢字検定：漢字と送りがな 2 |
| 12. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 52. 国語：慣用句 1 | 92. 漢字検定：書き取り 1 |
| 13. 日本史：室町・安土桃山時代 3 | 53. 国語：慣用句 2 | 93. 漢字検定：書き取り 2 |
| 14. 日本史：室町・安土桃山時代 4 | 54. 国語：慣用句 3 | 94. 漢字検定：書き取り 3 |
| 15. 日本史：室町・安土桃山時代 5 | 55. 国語：ことわざ 1 | 95. 漢字検定：書き取り 4 |
| 16. 日本史：江戸時代 (1) 1 | 56. 国語：ことわざ 2 | 96. 漢字検定：総合演習 1 |
| 17. 日本史：江戸時代 (1) 2 | 57. 国語：ことわざ 3 | 97. 漢字検定：総合演習 2 |
| 18. 日本史：江戸時代 (1) 3 | 58. 国語：難読語 1 | 98. 漢字検定：総合演習 3 |
| 19. 日本史：江戸時代 (1) 4 | 59. 国語：難読語 2 | 99. 漢字検定：総合演習 4 |
| 20. 日本史：江戸時代 (1) 5 | 60. 国語：難読語 3 | 100. 漢字検定：総合演習 5 |
| 21. 日本史：江戸時代 (2) 1 | 61. 国語：同音異義語 1 | |
| 22. 日本史：江戸時代 (2) 2 | 62. 国語：同音異義語 2 | |
| 23. 日本史：江戸時代 (2) 3 | 63. 国語：同音異義語 3 | |
| 24. 日本史：江戸時代 (2) 4 | 64. 国語：同訓異義語 1 | |
| 25. 日本史：江戸時代 (2) 5 | 65. 国語：同訓異義語 2 | |
| 26. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 1 | 66. 国語：同訓異義語 3 | |
| 27. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 2 | 67. 国語：誤りやすい言葉 1 | |
| 28. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 3 | 68. 国語：誤りやすい言葉 2 | |
| 29. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 4 | 69. 国語：誤りやすい言葉 3 | |
| 30. 日本史：江戸時代 (3)・明治時代 (1) 5 | 70. 漢字検定：読み 1 | |
| 31. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 1 | 71. 漢字検定：読み 2 | |
| 32. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 2 | 72. 漢字検定：部首 1 | |
| 33. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 3 | 73. 漢字検定：部首 2 | |
| 34. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 4 | 74. 漢字検定：熟語の構成 1 | |
| 35. 日本史：明治時代 (2)・大正時代 (1) 5 | 75. 漢字検定：熟語の構成 2 | |
| 36. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 1 | 76. 漢字検定：熟語の構成 3 | |
| 37. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 2 | 77. 漢字検定：熟語の構成 4 | |
| 38. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 3 | 78. 漢字検定：四字熟語 1 | |
| 39. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 4 | 79. 漢字検定：四字熟語 2 | |
| 40. 日本史：大正時代 (2)・昭和時代 (1) 5 | 80. 漢字検定：四字熟語 3 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学概論ⅡB	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

世界全体を総合的にとらえ、古代・中世・近代（近世）についての歴史の理解を目指す。日本および世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境および社会環境と関連させながら理解することを目指す。世界と日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 世界史：古代文明 1 | 41. 哲学思想：世界の思想 1 |
| 2. 世界史：古代文明 2 | 42. 哲学思想：世界の思想 2 |
| 3. 世界史：東アジア文化圏の形成 1 | 43. 哲学思想：世界の思想 3 |
| 4. 世界史：東アジア文化圏の形成 2 | 44. 哲学思想：世界の思想 4 |
| 5. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 | 45. 哲学思想：世界の思想 5 |
| 6. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 | 46. 哲学思想：世界の思想 6 |
| 7. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 3 | 47. 哲学思想：世界の思想 7 |
| 8. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 | 48. 哲学思想：世界の思想 8 |
| 9. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 | 49. 哲学思想：世界の思想 9 |
| 10. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 3 | 50. 哲学思想：世界の思想 10 |
| 11. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 1 | 51. 哲学思想：日本の思想 1 |
| 12. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 2 | 52. 哲学思想：日本の思想 2 |
| 13. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 3 | 53. 哲学思想：日本の思想 3 |
| 14. 世界史：市民社会の成立と近代国家 1 | 54. 哲学思想：日本の思想 4 |
| 15. 世界史：市民社会の成立と近代国家 2 | 55. 哲学思想：日本の思想 5 |
| 16. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 1 | 56. 哲学思想：日本の思想 6 |
| 17. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 2 | 57. 哲学思想：日本の思想 7 |
| 18. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 3 | 58. 哲学思想：日本の思想 8 |
| 19. 世界史：世界大戦前後の世界 1 | 59. 哲学思想：日本の思想 9 |
| 20. 世界史：世界大戦前後の世界 2 | 60. 哲学思想：日本の思想 10 |
| 21. 地理：現代世界の地理的考察 1 | 61. 文学芸術：外国の文学・芸術 1 |
| 22. 地理：現代世界の地理的考察 2 | 62. 文学芸術：外国の文学・芸術 2 |
| 23. 地理：現代世界の地理的考察 3 | 63. 文学芸術：外国の文学・芸術 3 |
| 24. 地理：地形と気候 1 | 64. 文学芸術：外国の文学・芸術 4 |
| 25. 地理：地形と気候 2 | 65. 文学芸術：外国の文学・芸術 5 |
| 26. 地理：地形と気候 3 | 66. 文学芸術：外国の文学・芸術 6 |
| 27. 地理：農業・漁業・林業 1 | 67. 文学芸術：外国の文学・芸術 7 |
| 28. 地理：農業・漁業・林業 2 | 68. 文学芸術：外国の文学・芸術 8 |
| 29. 地理：農業・漁業・林業 3 | 69. 文学芸術：外国の文学・芸術 9 |
| 30. 地理：農業・漁業・林業 4 | 69. 文学芸術：外国の文学・芸術 10 |
| 31. 地理：鉱工業・貿易 1 | 71. 文学芸術：日本の文学・芸術 1 |
| 32. 地理：鉱工業・貿易 2 | 72. 文学芸術：日本の文学・芸術 2 |
| 33. 地理：鉱工業・貿易 3 | 73. 文学芸術：日本の文学・芸術 3 |
| 34. 地理：鉱工業・貿易 4 | 74. 文学芸術：日本の文学・芸術 4 |
| 35. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 1 | 75. 文学芸術：日本の文学・芸術 5 |
| 36. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 2 | 76. 文学芸術：日本の文学・芸術 6 |
| 37. 地理：現代世界の地誌的考察（1） 3 | 77. 文学芸術：日本の文学・芸術 7 |
| 38. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 1 | 78. 文学芸術：日本の文学・芸術 8 |
| 39. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 2 | 79. 文学芸術：日本の文学・芸術 9 |
| 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） 3 | 80. 文学芸術：日本の文学・芸術 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

世界史・地理・哲学思想・文学芸術に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論 I B	開講年次	1 年	授業時数	60	単位数	3
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学の基本概念や原理・法則の理解および事象を数学的に考察し、処理する能力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 数と式 1 | 31. 関数 1 |
| 2. 数と式 2 | 32. 関数 2 |
| 3. 数と式 3 | 33. 関数 3 |
| 4. 数と式 4 | 34. 関数 4 |
| 5. 数と式 5 | 35. 関数 5 |
| 6. 数と式 6 | 36. 関数 6 |
| 7. 数と式 7 | 37. 関数 7 |
| 8. 数と式 8 | 38. 関数 8 |
| 9. 数と式 9 | 39. 関数 9 |
| 10. 数と式 1 0 | 40. 関数 1 0 |
| 11. 方程式 1 | 41. 平面と座標 1 |
| 12. 方程式 2 | 42. 平面と座標 2 |
| 13. 方程式 3 | 43. 平面と座標 3 |
| 14. 方程式 4 | 44. 平面と座標 4 |
| 15. 方程式 5 | 45. 平面と座標 5 |
| 16. 方程式 6 | 46. 平面と座標 6 |
| 17. 方程式 7 | 47. 平面と座標 7 |
| 18. 方程式 8 | 48. 平面と座標 8 |
| 19. 方程式 9 | 49. 平面と座標 9 |
| 20. 方程式 1 0 | 50. 平面と座標 1 0 |
| 21. 不等式 1 | 51. 角と三角形 1 |
| 22. 不等式 2 | 52. 角と三角形 2 |
| 23. 不等式 3 | 53. 角と三角形 3 |
| 24. 不等式 4 | 54. 角と三角形 4 |
| 25. 不等式 5 | 55. 角と三角形 5 |
| 26. 不等式 6 | 56. 角と三角形 6 |
| 27. 不等式 7 | 57. 角と三角形 7 |
| 28. 不等式 8 | 58. 角と三角形 8 |
| 29. 不等式 9 | 59. 角と三角形 9 |
| 30. 不等式 1 0 | 60. 角と三角形 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学概論ⅡB	開講年次	1年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

物理的な事物・現象に関する考え方や、化学的な事物・現象に関する考え方を養い、物理および化学の基本概念についての理解を目指す。

生物・人間および生物現象に関する考え方や、地学的な事物・現象に関する考え方を養い、生物および地学の基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 物理：力と運動の法則 1 | 41. 生物：動物の行動・生物の進化 1 |
| 2. 物理：力と運動の法則 2 | 42. 生物：動物の行動・生物の進化 2 |
| 3. 物理：力と運動の法則 3 | 43. 生物：動物の行動・生物の進化 3 |
| 4. 物理：力と運動の法則 4 | 44. 生物：動物の行動・生物の進化 4 |
| 5. 物理：物体の運動 1 | 45. 生物：細胞と組織 1 |
| 6. 物理：物体の運動 2 | 46. 生物：細胞と組織 2 |
| 7. 物理：物体の運動 3 | 47. 生物：細胞と組織 3 |
| 8. 物理：物体の運動 4 | 48. 生物：細胞と組織 4 |
| 9. 物理：エネルギー 1 | 49. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：エネルギー 2 | 50. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：エネルギー 3 | 51. 生物：酵素の働き・光合成 3 |
| 12. 物理：エネルギー 4 | 52. 生物：酵素の働き・光合成 4 |
| 13. 物理：波動 1 | 53. 生物：生物体のつくり 1 |
| 14. 物理：波動 2 | 54. 生物：生物体のつくり 2 |
| 15. 物理：波動 3 | 55. 生物：生物体のつくり 3 |
| 16. 物理：波動 4 | 56. 生物：生物体のつくり 4 |
| 17. 物理：電気・磁気 1 | 57. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 18. 物理：電気・磁気 2 | 58. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 19. 物理：電気・磁気 3 | 59. 生物：ホルモン・環境と植物 3 |
| 20. 物理：電気・磁気 4 | 60. 生物：ホルモン・環境と植物 4 |
| 21. 化学：物質の構成 1 | 61. 生物：遺伝 1 |
| 22. 化学：物質の構成 2 | 62. 生物：遺伝 2 |
| 23. 化学：物質の構成 3 | 63. 生物：遺伝 3 |
| 24. 化学：物質を構成する粒子 1 | 64. 生物：遺伝 4 |
| 25. 化学：物質を構成する粒子 2 | 65. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 26. 化学：物質を構成する粒子 3 | 66. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 27. 化学：物質を構成する粒子 4 | 67. 地学：地球の姿・地表の変化 3 |
| 28. 化学：物質の変化 1 | 68. 地学：地球の姿・地表の変化 4 |
| 29. 化学：物質の変化 2 | 69. 地学：地球の姿・地表の変化 5 |
| 30. 化学：物質の変化 3 | 70. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 31. 化学：物質の変化 4 | 71. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 32. 化学：イオン化傾向・非金属元素 1 | 72. 地学：地層・地殻・大気・海洋 3 |
| 33. 化学：イオン化傾向・非金属元素 2 | 73. 地学：地層・地殻・大気・海洋 4 |
| 34. 化学：イオン化傾向・非金属元素 3 | 74. 地学：地層・地殻・大気・海洋 5 |
| 35. 化学：金属元素 1 | 75. 地学：地層・地殻・大気・海洋 6 |
| 36. 化学：金属元素 2 | 76. 地学：宇宙の構成 1 |
| 37. 化学：金属元素 3 | 77. 地学：宇宙の構成 2 |
| 38. 化学：有機化合物 1 | 78. 地学：宇宙の構成 3 |
| 39. 化学：有機化合物 2 | 79. 地学：宇宙の構成 4 |
| 40. 化学：有機化合物 3 | 80. 地学：宇宙の構成 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会科学演習 I B	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済・現代社会分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 政治：民主政治の基本原則 1 | 41. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 1 |
| 2. 政治：民主政治の基本原則 2 | 42. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 2 |
| 3. 政治：民主政治の基本原則 3 | 43. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 3 |
| 4. 政治：民主政治の基本原則 4 | 44. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 4 |
| 5. 政治：日本国憲法の基本的性格 1 | 45. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 5 |
| 6. 政治：日本国憲法の基本的性格 2 | 46. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 6 |
| 7. 政治：日本国憲法の基本的性格 3 | 47. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 7 |
| 8. 政治：日本国憲法の基本的性格 4 | 48. 現代社会：現代の経済社会と経済活動 8 |
| 9. 政治：日本の統治機構 1 | 49. 現代社会：現代の民主政治 1 |
| 10. 政治：日本の統治機構 2 | 50. 現代社会：現代の民主政治 2 |
| 11. 政治：日本の統治機構 3 | 51. 現代社会：現代の民主政治 3 |
| 12. 政治：日本の統治機構 4 | 52. 現代社会：現代の民主政治 4 |
| 13. 政治：日本の政治の現状と問題 1 | 53. 現代社会：現代の民主政治 5 |
| 14. 政治：日本の政治の現状と問題 2 | 54. 現代社会：現代の民主政治 6 |
| 15. 政治：日本の政治の現状と問題 3 | 55. 現代社会：現代の民主政治 7 |
| 16. 政治：日本の政治の現状と問題 4 | 56. 現代社会：現代の民主政治 8 |
| 17. 政治：国際社会 1 | 57. 現代社会：現代社会と私たち 1 |
| 18. 政治：国際社会 2 | 58. 現代社会：現代社会と私たち 2 |
| 19. 政治：国際社会 3 | 59. 現代社会：現代社会と私たち 3 |
| 20. 政治：国際社会 4 | 60. 現代社会：現代社会と私たち 4 |
| 21. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 1 | 61. 現代社会：現代社会と私たち 5 |
| 22. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 2 | 62. 現代社会：現代社会と私たち 6 |
| 23. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 3 | 63. 現代社会：現代社会と私たち 7 |
| 24. 経済：経済体制・経済のしくみ (1) 4 | 64. 現代社会：現代社会と私たち 8 |
| 25. 経済：経済のしくみ (2) 1 | 65. 現代社会：国際社会の動向と日本 1 |
| 26. 経済：経済のしくみ (2) 2 | 66. 現代社会：国際社会の動向と日本 2 |
| 27. 経済：経済のしくみ (2) 3 | 67. 現代社会：国際社会の動向と日本 3 |
| 28. 経済：経済のしくみ (2) 4 | 68. 現代社会：国際社会の動向と日本 4 |
| 29. 経済：経済の発展と福祉の向上 1 | 69. 現代社会：国際社会の動向と日本 5 |
| 30. 経済：経済の発展と福祉の向上 2 | 70. 現代社会：国際社会の動向と日本 6 |
| 31. 経済：経済の発展と福祉の向上 3 | 71. 現代社会：国際社会の動向と日本 7 |
| 32. 経済：経済の発展と福祉の向上 4 | 72. 現代社会：国際社会の動向と日本 8 |
| 33. 憲法：憲法前文～第 103 条 1 | 73. 総合演習 1 |
| 34. 憲法：憲法前文～第 103 条 2 | 74. 総合演習 2 |
| 35. 憲法：憲法前文～第 103 条 3 | 75. 総合演習 3 |
| 36. 憲法：憲法前文～第 103 条 4 | 76. 総合演習 4 |
| 37. 憲法：法学概論 1 | 77. 総合演習 5 |
| 38. 憲法：法学概論 2 | 78. 総合演習 6 |
| 39. 憲法：法学概論 3 | 79. 総合演習 7 |
| 40. 憲法：法学概論 4 | 80. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

政治・経済・現代社会・憲法に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	人文科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理分野の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 日本史：古代 | 21. 世界史：古代文明 |
| 2. 日本史：平安・鎌倉・南北朝時代 | 22. 世界史：東アジア文化圏の形成 |
| 3. 日本史：室町・安土桃山時代 1 | 23. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 1 |
| 4. 日本史：室町・安土桃山時代 2 | 24. 世界史：イスラム・明清・オスマン朝 2 |
| 5. 日本史：江戸時代（1） | 25. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 1 |
| 6. 日本史：江戸時代（2） | 26. 世界史：ヨーロッパ世界の形成と変動 2 |
| 7. 日本史：江戸時代（3）・明治時代（1） | 27. 世界史：近代ヨーロッパと絶対王政 |
| 8. 日本史：明治時代（2）・大正時代（1） | 28. 世界史：市民社会の成立と近代国家 |
| 9. 日本史：大正時代（2）・昭和時代（1） | 29. 世界史：帝国主義とアジア地域の動揺 |
| 10. 日本史：昭和時代（2） | 30. 世界史：世界大戦前後の世界 |
| 11. 国語：四字熟語 | 31. 地理：現代世界の地理的考察 1 |
| 12. 国語：故事成語 | 32. 地理：現代世界の地理的考察 2 |
| 13. 国語：慣用句 | 33. 地理：地形と気候 1 |
| 14. 国語：ことわざ | 34. 地理：地形と気候 2 |
| 15. 国語：難読語 | 35. 地理：農業・漁業・林業 1 |
| 16. 国語：同音異義語 1 | 36. 地理：農業・漁業・林業 2 |
| 17. 国語：同音異義語 2 | 37. 地理：鉱工業・貿易 1 |
| 18. 国語：同訓異義語 1 | 38. 地理：鉱工業・貿易 2 |
| 19. 国語：同訓異義語 2 | 39. 地理：現代世界の地誌的考察（1） |
| 20. 国語：誤りやすいことば | 40. 地理：現代世界の地誌的考察（2） |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

日本史・国語・世界史・地理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	自然科学演習 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 数学：数と式 | 21. 化学：物質を構成する粒子 2 |
| 2. 数学：方程式 | 22. 化学：物質の変化 1 |
| 3. 数学：不等式 | 23. 化学：物質の変化 2 |
| 4. 数学：関数 1 | 24. 化学：イオン化傾向・非金属元素 |
| 5. 数学：関数 2 | 25. 化学：金属元素 |
| 6. 数学：平面と座標 1 | 26. 化学：有機化合物 |
| 7. 数学：平面と座標 2 | 27. 生物：動物の行動・生物の進 |
| 8. 数学：角と三角形 1 | 28. 生物：細胞と組織 |
| 9. 数学：角と三角形 2 | 29. 生物：酵素の働き・光合成 1 |
| 10. 物理：力と運動の法則 1 | 30. 生物：酵素の働き・光合成 2 |
| 11. 物理：力と運動の法則 2 | 31. 生物：生物体のつくり |
| 12. 物理：物体の運動 1 | 32. 生物：ホルモン・環境と植物 1 |
| 13. 物理：物体の運動 2 | 33. 生物：ホルモン・環境と植物 2 |
| 14. 物理：エネルギー | 34. 生物：遺伝 1 |
| 15. 物理：波動 | 35. 生物：遺伝 2 |
| 16. 物理：電気・磁気 1 | 36. 地学：地球の姿・地表の変化 1 |
| 17. 物理：電気・磁気 2 | 37. 地学：地球の姿・地表の変化 2 |
| 18. 化学：物質の構成 1 | 38. 地学：地層・地殻・大気・海洋 1 |
| 19. 化学：物質の構成 2 | 39. 地学：地層・地殻・大気・海洋 2 |
| 20. 化学：物質を構成する粒子 1 | 40. 地学：宇宙の構成 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数学・物理・化学・生物・地学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	現代国語A	開講年次	2年	授業時数	80	単位数	4
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 読み1	31. 誤字訂正3	61. 対義語・類義語5
2. 読み2	32. 誤字訂正4	62. 対義語・類義語6
3. 読み3	33. 送りがな1	63. 対義語・類義語7
4. 読み4	34. 送りがな2	64. 対義語・類義語8
5. 部首1	35. 送りがな3	65. 同音・同訓異字5
6. 部首2	36. 送りがな4	66. 同音・同訓異字6
7. 部首3	37. 書き取り1	67. 同音・同訓異字7
8. 部首4	38. 書き取り2	68. 同音・同訓異字8
9. 熟語の構成1	39. 書き取り3	69. 誤字訂正5
10. 熟語の構成2	40. 書き取り4	70. 誤字訂正6
11. 熟語の構成3	41. 読み5	71. 誤字訂正7
12. 熟語の構成4	42. 読み6	72. 誤字訂正8
13. 四字熟語（書き）1	43. 読み7	73. 送りがな5
14. 四字熟語（書き）2	44. 読み8	74. 送りがな6
15. 四字熟語（書き）3	45. 部首5	75. 送りがな7
16. 四字熟語（書き）4	46. 部首6	76. 送りがな8
17. 四字熟語（意味）1	47. 部首7	77. 書き取り5
18. 四字熟語（意味）2	48. 部首8	78. 書き取り6
19. 四字熟語（意味）3	49. 熟語の構成5	79. 書き取り7
20. 四字熟語（意味）4	50. 熟語の構成6	80. 書き取り8
21. 対義語・類義語1	51. 熟語の構成7	
22. 対義語・類義語2	52. 熟語の構成8	
23. 対義語・類義語3	53. 四字熟語（書き）5	
24. 対義語・類義語4	54. 四字熟語（書き）6	
25. 同音・同訓異字1	55. 四字熟語（書き）7	
26. 同音・同訓異字2	56. 四字熟語（書き）8	
27. 同音・同訓異字3	57. 四字熟語（意味）5	
28. 同音・同訓異字4	58. 四字熟語（意味）6	
29. 誤字訂正1	59. 四字熟語（意味）7	
30. 誤字訂正2	60. 四字熟語（意味）8	

〔テキスト〕

漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	現代国語B	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| 1. 読み 1 | 41. 送りがな 1 | 81. 同音・同訓異字 6 |
| 2. 読み 2 | 42. 送りがな 2 | 82. 同音・同訓異字 7 |
| 3. 読み 3 | 43. 送りがな 3 | 83. 同音・同訓異字 8 |
| 4. 読み 4 | 44. 送りがな 4 | 84. 同音・同訓異字 9 |
| 5. 読み 5 | 45. 送りがな 5 | 85. 同音・同訓異字 1 0 |
| 6. 部首 1 | 46. 書き取り 1 | 86. 誤字訂正 6 |
| 7. 部首 2 | 47. 書き取り 2 | 87. 誤字訂正 7 |
| 8. 部首 3 | 48. 書き取り 3 | 88. 誤字訂正 8 |
| 9. 部首 4 | 49. 書き取り 4 | 89. 誤字訂正 9 |
| 10. 部首 5 | 50. 書き取り 5 | 90. 誤字訂正 1 0 |
| 11. 熟語の構成 1 | 51. 読み 6 | 91. 送りがな 6 |
| 12. 熟語の構成 2 | 52. 読み 7 | 92. 送りがな 7 |
| 13. 熟語の構成 3 | 53. 読み 8 | 93. 送りがな 8 |
| 14. 熟語の構成 4 | 54. 読み 9 | 94. 送りがな 9 |
| 15. 熟語の構成 5 | 55. 読み 1 0 | 95. 送りがな 1 0 |
| 16. 四字熟語（書き） 1 | 56. 部首 6 | 96. 書き取り 6 |
| 17. 四字熟語（書き） 2 | 57. 部首 7 | 97. 書き取り 7 |
| 18. 四字熟語（書き） 3 | 58. 部首 8 | 98. 書き取り 8 |
| 19. 四字熟語（書き） 4 | 59. 部首 9 | 99. 書き取り 9 |
| 20. 四字熟語（書き） 5 | 60. 部首 1 0 | 100. 書き取り 1 0 |
| 21. 四字熟語（意味） 1 | 61. 熟語の構成 6 | |
| 22. 四字熟語（意味） 2 | 62. 熟語の構成 7 | |
| 23. 四字熟語（意味） 3 | 63. 熟語の構成 8 | |
| 24. 四字熟語（意味） 4 | 64. 熟語の構成 9 | |
| 25. 四字熟語（意味） 5 | 65. 熟語の構成 1 0 | |
| 26. 対義語・類義語 1 | 66. 四字熟語（書き） 6 | |
| 27. 対義語・類義語 2 | 67. 四字熟語（書き） 7 | |
| 28. 対義語・類義語 3 | 68. 四字熟語（書き） 8 | |
| 29. 対義語・類義語 4 | 69. 四字熟語（書き） 9 | |
| 30. 対義語・類義語 5 | 70. 四字熟語（書き） 1 0 | |
| 31. 同音・同訓異字 1 | 71. 四字熟語（意味） 6 | |
| 32. 同音・同訓異字 2 | 72. 四字熟語（意味） 7 | |
| 33. 同音・同訓異字 3 | 73. 四字熟語（意味） 8 | |
| 34. 同音・同訓異字 4 | 74. 四字熟語（意味） 9 | |
| 35. 同音・同訓異字 5 | 75. 四字熟語（意味） 1 0 | |
| 36. 誤字訂正 1 | 76. 対義語・類義語 6 | |
| 37. 誤字訂正 2 | 77. 対義語・類義語 7 | |
| 38. 誤字訂正 3 | 78. 対義語・類義語 8 | |
| 39. 誤字訂正 4 | 79. 対義語・類義語 9 | |
| 40. 誤字訂正 5 | 80. 対義語・類義語 1 0 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	論作文 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	一般科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 社会人像に関する基本的課題 1 | 21. 社会人像に関する基本的課題 1 1 |
| 2. 社会人像に関する基本的課題 2 | 22. 社会人像に関する基本的課題 1 2 |
| 3. 社会人像に関する基本的課題 3 | 23. 学校生活に関する基本的課題 6 |
| 4. 社会人像に関する基本的課題 4 | 24. 学校生活に関する基本的課題 7 |
| 5. 社会人像に関する基本的課題 5 | 25. 学校生活に関する基本的課題 8 |
| 6. 学校生活に関する基本的課題 1 | 26. 学校生活に関する基本的課題 9 |
| 7. 学校生活に関する基本的課題 2 | 27. 学校生活に関する基本的課題 1 0 |
| 8. 学校生活に関する基本的課題 3 | 28. 学校生活に関する基本的課題 1 1 |
| 9. 学校生活に関する基本的課題 4 | 29. 学校生活に関する基本的課題 1 2 |
| 10. 学校生活に関する基本的課題 5 | 30. 人生観・生き方に関する基本的課題 6 |
| 11. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 | 31. 人生観・生き方に関する基本的課題 7 |
| 12. 人生観・生き方に関する基本的課題 2 | 32. 人生観・生き方に関する基本的課題 8 |
| 13. 人生観・生き方に関する基本的課題 3 | 33. 人生観・生き方に関する基本的課題 9 |
| 14. 人生観・生き方に関する基本的課題 4 | 34. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 0 |
| 15. 人生観・生き方に関する基本的課題 5 | 35. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 1 |
| 16. 社会人像に関する基本的課題 6 | 36. 人生観・生き方に関する基本的課題 1 2 |
| 17. 社会人像に関する基本的課題 7 | 37. 総合的課題 1 |
| 18. 社会人像に関する基本的課題 8 | 38. 総合的課題 2 |
| 19. 社会人像に関する基本的課題 9 | 39. 総合的課題 3 |
| 20. 社会人像に関する基本的課題 1 0 | 40. 総合的課題 4 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に課する種々のレポート、学期末試験、出席等を総合して判断する。論作文の成果物、レポート等の内容を中心に評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	時事研究 I	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 政治・経済分野 1 | 21. 科学・技術分野 1 |
| 2. 政治・経済分野 2 | 22. 科学・技術分野 2 |
| 3. 政治・経済分野 3 | 23. 科学・技術分野 3 |
| 4. 政治・経済分野 4 | 24. 科学・技術分野 4 |
| 5. 政治・経済分野 5 | 25. 科学・技術分野 5 |
| 6. 国際関係分野 1 | 26. 自然・環境分野 1 |
| 7. 国際関係分野 2 | 27. 自然・環境分野 2 |
| 8. 国際関係分野 3 | 28. 自然・環境分野 3 |
| 9. 国際関係分野 4 | 29. 自然・環境分野 4 |
| 10. 国際関係分野 5 | 30. 自然・環境分野 5 |
| 11. 社会・生活分野 1 | 31. 文化・スポーツ分野 1 |
| 12. 社会・生活分野 2 | 32. 文化・スポーツ分野 2 |
| 13. 社会・生活分野 3 | 33. 文化・スポーツ分野 3 |
| 14. 社会・生活分野 4 | 34. 文化・スポーツ分野 4 |
| 15. 社会・生活分野 5 | 35. 文化・スポーツ分野 5 |
| 16. 産業・労働分野 1 | 36. 総合 1 |
| 17. 産業・労働分野 2 | 37. 総合 2 |
| 18. 産業・労働分野 3 | 38. 総合 3 |
| 19. 産業・労働分野 4 | 39. 総合 4 |
| 20. 産業・労働分野 5 | 40. 総合 5 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

時事用語集、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	キャリアデザイン	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	一般科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会でどのように働き、どのように社会で自立して生きていくのかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自己分析 1 | 21. エントリーシート・履歴書作成 3 |
| 2. 自己分析 2 | 22. エントリーシート・履歴書作成 4 |
| 3. 自己分析 3 | 23. エントリーシート・履歴書作成 5 |
| 4. 自己分析 4 | 24. エントリーシート・履歴書作成 6 |
| 5. 自己分析 5 | 25. 模擬面接 1 |
| 6. 自己分析 6 | 26. 模擬面接 2 |
| 7. 志望動機作成 1 | 27. 模擬面接 3 |
| 8. 志望動機作成 2 | 28. 模擬面接 4 |
| 9. 志望動機作成 3 | 29. 模擬面接 5 |
| 10. 志望動機作成 4 | 30. 模擬面接 6 |
| 11. 志望動機作成 5 | 31. 模擬面接 7 |
| 12. 志望動機作成 6 | 32. 模擬面接 8 |
| 13. 自己PR作成 1 | 33. 模擬面接 9 |
| 14. 自己PR作成 2 | 34. 模擬面接 1 0 |
| 15. 自己PR作成 3 | 35. 模擬面接 1 1 |
| 16. 自己PR作成 4 | 36. 模擬面接 1 2 |
| 17. 自己PR作成 5 | 37. 模擬面接 1 3 |
| 18. 自己PR作成 6 | 38. 模擬面接 1 4 |
| 19. エントリーシート・履歴書作成 1 | 39. 模擬面接 1 5 |
| 20. エントリーシート・履歴書作成 2 | 40. 模擬面接 1 6 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、出席状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。

科目名	就職セミナー I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (企業の新入職員研修を実施している企業担当者でありキャリアディベロップメントアドバイザー) [担当教員紹介] 担当教員は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレクチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビジネスマナー向上のための授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指す。特に、社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方・行動の仕方について理解を深め、礼儀・マナーの修得、面接練習等を重視する。																											
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 職業についての考え方</td> <td style="width: 50%;">11. 礼儀・マナーの知識</td> </tr> <tr> <td>2. 職業についての考え方</td> <td>12. 礼儀・マナーの知識</td> </tr> <tr> <td>3. 就職を取り巻く社会状況の分析</td> <td>13. 敬語表現</td> </tr> <tr> <td>4. 就職を取り巻く社会状況の分析</td> <td>14. 敬語表現</td> </tr> <tr> <td>5. 就職活動の予備知識</td> <td>15. DVD等による事例研究</td> </tr> <tr> <td>6. 就職活動の予備知識</td> <td>16. DVD等による事例研究</td> </tr> <tr> <td>7. 官公庁研究及び企業研究の方法</td> <td>17. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>8. 官公庁研究及び企業研究の方法</td> <td>18. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>9. 自己分析の仕方</td> <td>19. 面接練習</td> </tr> <tr> <td>10. 自己分析の仕方</td> <td>20. 面接練習</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 職業についての考え方	11. 礼儀・マナーの知識	2. 職業についての考え方	12. 礼儀・マナーの知識	3. 就職を取り巻く社会状況の分析	13. 敬語表現	4. 就職を取り巻く社会状況の分析	14. 敬語表現	5. 就職活動の予備知識	15. DVD等による事例研究	6. 就職活動の予備知識	16. DVD等による事例研究	7. 官公庁研究及び企業研究の方法	17. 面接練習	8. 官公庁研究及び企業研究の方法	18. 面接練習	9. 自己分析の仕方	19. 面接練習	10. 自己分析の仕方	20. 面接練習
1. 職業についての考え方	11. 礼儀・マナーの知識																										
2. 職業についての考え方	12. 礼儀・マナーの知識																										
3. 就職を取り巻く社会状況の分析	13. 敬語表現																										
4. 就職を取り巻く社会状況の分析	14. 敬語表現																										
5. 就職活動の予備知識	15. DVD等による事例研究																										
6. 就職活動の予備知識	16. DVD等による事例研究																										
7. 官公庁研究及び企業研究の方法	17. 面接練習																										
8. 官公庁研究及び企業研究の方法	18. 面接練習																										
9. 自己分析の仕方	19. 面接練習																										
10. 自己分析の仕方	20. 面接練習																										
[テキスト] 種々のプリント、DVD等を中心とする。																											
[成績評価] セミナーへの取り組み状況、レポートの内容により評価する。																											

科目名	職業実務 I A	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、京都地方協力本部地区隊長であり、広報として様々な学生指導経験がある。また、実務経験に基づいて実践的な授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 将来的に公務員として働くために実践的な訓練をフィールドワークで学ぶ。また、職種や組織を理解することで社会人になるにあたっての職業知識を深め公務員としての心構えを身につける。																											
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 施設見学 1</td> <td style="width: 50%;">11. 組織の概要 1</td> </tr> <tr> <td>2. 施設見学 2</td> <td>12. 組織の概要 2</td> </tr> <tr> <td>3. 施設見学 3</td> <td>13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>4. フィールドワーク 1</td> <td>14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>5. フィールドワーク 2</td> <td>15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>6. フィールドワーク 3</td> <td>16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>7. フィールドワーク 4</td> <td>17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1</td> </tr> <tr> <td>8. フィールドワーク 5</td> <td>18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2</td> </tr> <tr> <td>9. フィールドワーク 6</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. フィールドワーク 7</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 施設見学 1	11. 組織の概要 1	2. 施設見学 2	12. 組織の概要 2	3. 施設見学 3	13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1	4. フィールドワーク 1	14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2	5. フィールドワーク 2	15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1	6. フィールドワーク 3	16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2	7. フィールドワーク 4	17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1	8. フィールドワーク 5	18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2	9. フィールドワーク 6	19. グループワーク 1	10. フィールドワーク 7	20. グループワーク 2
1. 施設見学 1	11. 組織の概要 1																										
2. 施設見学 2	12. 組織の概要 2																										
3. 施設見学 3	13. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 1																										
4. フィールドワーク 1	14. さまざまな職種 (陸上自衛隊) 2																										
5. フィールドワーク 2	15. さまざまな職種 (海上自衛隊) 1																										
6. フィールドワーク 3	16. さまざまな職種 (海上自衛隊) 2																										
7. フィールドワーク 4	17. さまざまな職種 (航空自衛隊) 1																										
8. フィールドワーク 5	18. さまざまな職種 (航空自衛隊) 2																										
9. フィールドワーク 6	19. グループワーク 1																										
10. フィールドワーク 7	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡA	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習																				
		担当教員	実務経験のある教員 (現役自衛官) [担当教員紹介] 担当教員は、実務経験に基づいて部隊での研修や実績を有した方々でありそれぞれの専門知識を生かした実践的な授業を展開する。																								
[講義主要目標及び講義概要] 就職を目前に控え公務員として有事の際の活動の一環として、災害時の活動を学び実際に演習を通じて必要性と重要性を理解しスキルの習得を行う。																											
[講義・演習項目] <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 災害時における活動内容 1</td> <td style="width: 50%;">11. 救護方法演習 (骨折) 3</td> </tr> <tr> <td>2. 災害時における活動内容 2</td> <td>12. 救護方法演習 (骨折) 4</td> </tr> <tr> <td>3. 災害時における活動内容 3</td> <td>13. 救護方法演習 (搬送方法) 1</td> </tr> <tr> <td>4. 災害時における活動内容 4</td> <td>14. 救護方法演習 (搬送方法) 2</td> </tr> <tr> <td>5. 救護方法演習 (止血) 1</td> <td>15. 救護方法演習 (搬送方法) 3</td> </tr> <tr> <td>6. 救護方法演習 (止血) 2</td> <td>16. 救護方法演習 (搬送方法) 4</td> </tr> <tr> <td>7. 救護方法演習 (止血) 3</td> <td>17. レポート作成 1</td> </tr> <tr> <td>8. 救護方法演習 (止血) 4</td> <td>18. レポート作成 2</td> </tr> <tr> <td>9. 救護方法演習 (骨折) 1</td> <td>19. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>10. 救護方法演習 (骨折) 2</td> <td>20. グループワーク 2</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3	2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4	3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1	4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2	5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3	6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4	7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1	8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2	9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1	10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2
1. 災害時における活動内容 1	11. 救護方法演習 (骨折) 3																										
2. 災害時における活動内容 2	12. 救護方法演習 (骨折) 4																										
3. 災害時における活動内容 3	13. 救護方法演習 (搬送方法) 1																										
4. 災害時における活動内容 4	14. 救護方法演習 (搬送方法) 2																										
5. 救護方法演習 (止血) 1	15. 救護方法演習 (搬送方法) 3																										
6. 救護方法演習 (止血) 2	16. 救護方法演習 (搬送方法) 4																										
7. 救護方法演習 (止血) 3	17. レポート作成 1																										
8. 救護方法演習 (止血) 4	18. レポート作成 2																										
9. 救護方法演習 (骨折) 1	19. グループワーク 1																										
10. 救護方法演習 (骨折) 2	20. グループワーク 2																										
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。																											
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。																											

科目名	職業実務ⅡB	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1		
		種類	専門科目	分類	必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役行政書士) [担当教員紹介] 担当教員は行政書士であり、法律に基づいてコンプライアンスに関する不祥事や問題点を挙げ自身の身を守るための授業を展開する。また公務員や民間企業や個人の不祥事を身近に捉えることで生活に関するコンプライアンスを習得する。						
[講義主要目標及び講義概要] 法令遵守のみならず、社会的ニーズへの対応の仕方を、実例を踏まえて修得する。近い将来、学生たちが社会で活躍する上で、基本的なコンプライアンス意識が醸成されたレベルを兼ね備えて送り出せるようにしたい。									
[講義・演習項目] <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> 1. コンプライアンスとは 2. コンプライアンスの重要性 3. コンプライアンス違反の例① 4. コンプライアンス違反の例② 5. コンプライアンス違反の例③ 6. コンプライアンス違反の例④ 7. 行政書士とコンプライアンス 8. 職務上請求書不正使用事件 9. 公務員倫理とは 10. 公務員としての倫理を保持するために </td> <td style="width:50%; vertical-align:top;"> 11. 現場特有のコンプライアンス違反の例① 12. 現場特有のコンプライアンス違反の例② 13. 現場特有のコンプライアンス違反の例③ 14. 現場特有のコンプライアンス違反の例④ 15. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑤ 16. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑥ 17. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑦ 18. グループワーク演習① 19. グループワーク演習② 20. レポート作成 ※ 時数不足の場合は課題として提出。 </td> </tr> </table>								1. コンプライアンスとは 2. コンプライアンスの重要性 3. コンプライアンス違反の例① 4. コンプライアンス違反の例② 5. コンプライアンス違反の例③ 6. コンプライアンス違反の例④ 7. 行政書士とコンプライアンス 8. 職務上請求書不正使用事件 9. 公務員倫理とは 10. 公務員としての倫理を保持するために	11. 現場特有のコンプライアンス違反の例① 12. 現場特有のコンプライアンス違反の例② 13. 現場特有のコンプライアンス違反の例③ 14. 現場特有のコンプライアンス違反の例④ 15. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑤ 16. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑥ 17. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑦ 18. グループワーク演習① 19. グループワーク演習② 20. レポート作成 ※ 時数不足の場合は課題として提出。
1. コンプライアンスとは 2. コンプライアンスの重要性 3. コンプライアンス違反の例① 4. コンプライアンス違反の例② 5. コンプライアンス違反の例③ 6. コンプライアンス違反の例④ 7. 行政書士とコンプライアンス 8. 職務上請求書不正使用事件 9. 公務員倫理とは 10. 公務員としての倫理を保持するために	11. 現場特有のコンプライアンス違反の例① 12. 現場特有のコンプライアンス違反の例② 13. 現場特有のコンプライアンス違反の例③ 14. 現場特有のコンプライアンス違反の例④ 15. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑤ 16. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑥ 17. 現場特有のコンプライアンス違反の例⑦ 18. グループワーク演習① 19. グループワーク演習② 20. レポート作成 ※ 時数不足の場合は課題として提出。								
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	職業実務 I B	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	<p>実務経験のある教員 (現役京都地方検察庁職員)、(現役大阪税関職員)、 (現役海上保安官) 〔担当教員紹介〕 担当教員の一人は、現役京都地方検察庁職員であり庁舎訪問を通じて仕事のイメージを具体化する授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役大阪税関職員であり公務の内容を実技で学ぶ授業を展開する。 担当教員のもう一人は、現役海上保安官であり第八管区内の施設や業務紹介を質疑応答形式で行う。また、我が国における海上保安の重要性を伝えて学生の間から海上保安に携わる大切さを伝える形で授業を展開する。</p>																								
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕 国家公務員の事務職の仕事内容をフィールドワークで学ぶ。また、国家公務員の公安職の仕事内容を理解することで学生が目指す公務員像を具体的にしていく。</p>																											
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:50%;">1. 検察庁の仕事 1</td> <td style="width:50%;">11. 麻薬探知犬によるトレーニング</td> </tr> <tr> <td>2. 検察庁の仕事 2</td> <td>12. レポート作成</td> </tr> <tr> <td>3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1</td> <td>13. 海上保安庁の活動内容 1</td> </tr> <tr> <td>4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2</td> <td>14. 海上保安庁の活動内容 2</td> </tr> <tr> <td>5. 施設見学 1</td> <td>15. 海上保安官の仕事 1</td> </tr> <tr> <td>6. 施設見学 2</td> <td>16. 海上保安官の仕事 2</td> </tr> <tr> <td>7. 施設見学 3</td> <td>17. 現役海上保安官とのディスカッション</td> </tr> <tr> <td>8. レポート作成</td> <td>18. 海上保安学校について</td> </tr> <tr> <td>9. 税関業務</td> <td>19. レポート作成</td> </tr> <tr> <td>10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション</td> <td>20. グループワーク</td> </tr> </table> <p style="text-align:right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 検察庁の仕事 1	11. 麻薬探知犬によるトレーニング	2. 検察庁の仕事 2	12. レポート作成	3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1	13. 海上保安庁の活動内容 1	4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2	14. 海上保安庁の活動内容 2	5. 施設見学 1	15. 海上保安官の仕事 1	6. 施設見学 2	16. 海上保安官の仕事 2	7. 施設見学 3	17. 現役海上保安官とのディスカッション	8. レポート作成	18. 海上保安学校について	9. 税関業務	19. レポート作成	10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	20. グループワーク
1. 検察庁の仕事 1	11. 麻薬探知犬によるトレーニング																										
2. 検察庁の仕事 2	12. レポート作成																										
3. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 1	13. 海上保安庁の活動内容 1																										
4. 実務に携わる卒業生とのディスカッション 2	14. 海上保安庁の活動内容 2																										
5. 施設見学 1	15. 海上保安官の仕事 1																										
6. 施設見学 2	16. 海上保安官の仕事 2																										
7. 施設見学 3	17. 現役海上保安官とのディスカッション																										
8. レポート作成	18. 海上保安学校について																										
9. 税関業務	19. レポート作成																										
10. 実務に携わる卒業生とのディスカッション	20. グループワーク																										
<p>〔テキスト〕 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																											
<p>〔成績評価〕 ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>																											

科目名	職業実務 I C	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1																				
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	<p>実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役近畿財務局職員) 〔担当教員紹介〕</p> <p>担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを中心に授業を展開する。</p> <p>担当教員のもう一人は、現役近畿財務局職員であり実際の公務内容を学ぶ。また、グループワークを通じて国家予算作成およびプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。</p>																								
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会保険、年金や税金の種類および国家予算については社会人として知っておかなければならない事柄であるが、学生のうちにそれを学ぶ機会はほとんどない。そこで、それぞれの実務に精通した担当講師が、実例に基づいてわかりやすく解説をし、それらの必要性・重要性を理解し、社会に出て困らないような知識を修得する。</p>																											
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 公的年金制度 1</td> <td style="width: 50%;">11. 日本の財政 1</td> </tr> <tr> <td>2. 公的年金制度 2</td> <td>12. 日本の財政 2</td> </tr> <tr> <td>3. 公的年金の種類 1</td> <td>13. 財政を支える税金 1</td> </tr> <tr> <td>4. 公的年金の種類 2</td> <td>14. 財政を支える税金 2</td> </tr> <tr> <td>5. 保険料の納め方</td> <td>15. 国の借金</td> </tr> <tr> <td>6. 免除制度</td> <td>16. 財政のバランス</td> </tr> <tr> <td>7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1</td> <td>17. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2</td> <td>18. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. プレゼンテーション</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 公的年金制度 1	11. 日本の財政 1	2. 公的年金制度 2	12. 日本の財政 2	3. 公的年金の種類 1	13. 財政を支える税金 1	4. 公的年金の種類 2	14. 財政を支える税金 2	5. 保険料の納め方	15. 国の借金	6. 免除制度	16. 財政のバランス	7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1	17. グループワーク 1	8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2	18. グループワーク 2	9. グループワーク	19. プレゼンテーション	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 公的年金制度 1	11. 日本の財政 1																										
2. 公的年金制度 2	12. 日本の財政 2																										
3. 公的年金の種類 1	13. 財政を支える税金 1																										
4. 公的年金の種類 2	14. 財政を支える税金 2																										
5. 保険料の納め方	15. 国の借金																										
6. 免除制度	16. 財政のバランス																										
7. 公的年金の疑問 (質疑応答) 1	17. グループワーク 1																										
8. 公的年金の疑問 (質疑応答) 2	18. グループワーク 2																										
9. グループワーク	19. プレゼンテーション																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
<p>〔テキスト〕</p> <p>官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																											
<p>〔成績評価〕</p> <p>ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>																											

科目名	職業実務 I D	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1		
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習		
		担当教員	実務経験のある教員 (現役日本漢字能力検定協会職員) [担当教員紹介] 担当教員は日本漢字能力検定協会の職員であり、就職活動において必要な自己PRのポイントを押さえながら、実際に作成する授業を展開する。						
[講義主要目標及び講義概要] 自分の体験を通じて最もアピールできるところを見つけ出し、文章構成を考えながら自己PRの完成を目指す。									
[講義・演習項目] <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践	11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成
1. 自己PRを書くコツとは 2. 自己PRは何を書くのか 3. そもそも自己PRとは何か 4. 伝わりやすい「自己PR」とは何か1 5. 伝わりやすい「自己PR」とは何か2 6. 伝わりやすい「自己PR」とは何か3 7. だれでも書ける自己PRステップ1 8. だれでも書ける自己PRステップ1実践 9. だれでも書ける自己PRステップ2 10. だれでも書ける自己PRステップ2実践	11. だれでも書ける自己PRステップ3 12. だれでも書ける自己PRステップ3実践 13. だれでも書ける自己PRステップ4 14. だれでも書ける自己PRステップ4実践 15. だれでも書ける自己PRステップ5 16. だれでも書ける自己PRステップ5実践 17. 自己PR作成1 18. 自己PR作成2 19. 自己PR作成3 20. レポート作成								
[テキスト] 官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。									
[成績評価] ワークシート作成等授業への取り組み状況、レポートおよびその内容、確認テストの点数を総合評価する。									

科目名	職業実務ⅡC	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	<p>実務経験のある教員 (現役日本年金機構職員)、(現役京都銀行協会職員)</p> <p>[担当教員紹介]</p> <p>担当教員の一人は、現役日本年金機構職員であり公的年金の仕組みや20歳になってからの手続きを復習しながら老齢年金と障害年金を中心に授業を展開する。</p> <p>担当教員のもう一人は、現役京都銀行協会職員であり実際に多重債務者にならないようにメカニズムを修得する。また、グループワークを通じて啓発ポスターの作成やプレゼンテーションで多角的な考察を深める授業を展開する。</p>																								
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>卒業後の人生においてお金にまつわる諸問題と、それに関わる犯罪についても学ぶ。また、将来に渡ってどのように自身とお金に関わっていくかを修得する。</p>																											
<p>[講義・演習項目]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 公的年金制度の復習 1</td> <td>11. 多重債務とは 1</td> </tr> <tr> <td>2. 公的年金制度の復習 2</td> <td>12. 多重債務とは 2</td> </tr> <tr> <td>3. 老齢年金の仕組み 1</td> <td>13. 多重債務のメカニズム 1</td> </tr> <tr> <td>4. 老齢年金の仕組み 2</td> <td>14. 多重債務のメカニズム 2</td> </tr> <tr> <td>5. 老齢年金の計算</td> <td>15. 多重債務の実例</td> </tr> <tr> <td>6. 障害年金の仕組み 1</td> <td>16. グループワーク 1</td> </tr> <tr> <td>7. 障害年金の仕組み 2</td> <td>17. グループワーク 2</td> </tr> <tr> <td>8. 障害年金の計算</td> <td>18. プレゼンテーション 1</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. プレゼンテーション 2</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1	2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2	3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1	4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2	5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例	6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1	7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2	8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1	9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 公的年金制度の復習 1	11. 多重債務とは 1																										
2. 公的年金制度の復習 2	12. 多重債務とは 2																										
3. 老齢年金の仕組み 1	13. 多重債務のメカニズム 1																										
4. 老齢年金の仕組み 2	14. 多重債務のメカニズム 2																										
5. 老齢年金の計算	15. 多重債務の実例																										
6. 障害年金の仕組み 1	16. グループワーク 1																										
7. 障害年金の仕組み 2	17. グループワーク 2																										
8. 障害年金の計算	18. プレゼンテーション 1																										
9. グループワーク	19. プレゼンテーション 2																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
<p>[テキスト]</p> <p>官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																											
<p>[成績評価]</p> <p>ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>																											

科目名	職業実務ⅡD	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1																				
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習																				
		担当教員	<p>実務経験のある教員</p> <p>(現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員)</p> <p>(企業や官公庁の職員研修を実施しているマナー研修会社の代表取締役)</p> <p>[担当教員紹介]</p> <p>担当教員の一人は、現役京都市地域リハビリテーション推進センター職員である。身体障がいの特性や配慮について実務経験を中心に授業を展開する。</p> <p>担当教員のもう一人は、ビジネスマナー、特に接客等の技術を専門的にレクチャーする会社の社員であり、接客等の実務経験に基づいてビジネスマナーやクレーム対応の授業を展開する。</p>																								
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>社会人になるにあたって、さまざまな特性を持った方々との接し方やビジネスマナー、クレーム対応をはじめとして、職員としての即戦力になるために必要なことについて実習を通して学ぶ。</p>																											
<p>[講義・演習項目]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 身体障がい</td> <td>11. オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2. 肢体不自由の特性1</td> <td>12. ビジネスマナーの基礎</td> </tr> <tr> <td>3. 肢体不自由の特性2</td> <td>13. クレームとは</td> </tr> <tr> <td>4. 肢体不自由の配慮1</td> <td>14. クレーム対応の基本1</td> </tr> <tr> <td>5. 肢体不自由の配慮2</td> <td>15. クレーム対応の基本2</td> </tr> <tr> <td>6. その他の障がい1</td> <td>16. 事例研究1</td> </tr> <tr> <td>7. その他の障がい2</td> <td>17. 事例研究2</td> </tr> <tr> <td>8. 対応方法</td> <td>18. グループワーク1</td> </tr> <tr> <td>9. グループワーク</td> <td>19. グループワーク2</td> </tr> <tr> <td>10. レポート作成</td> <td>20. レポート作成</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※ 時数不足の場合は課題として提出。</p>								1. 身体障がい	11. オリエンテーション	2. 肢体不自由の特性1	12. ビジネスマナーの基礎	3. 肢体不自由の特性2	13. クレームとは	4. 肢体不自由の配慮1	14. クレーム対応の基本1	5. 肢体不自由の配慮2	15. クレーム対応の基本2	6. その他の障がい1	16. 事例研究1	7. その他の障がい2	17. 事例研究2	8. 対応方法	18. グループワーク1	9. グループワーク	19. グループワーク2	10. レポート作成	20. レポート作成
1. 身体障がい	11. オリエンテーション																										
2. 肢体不自由の特性1	12. ビジネスマナーの基礎																										
3. 肢体不自由の特性2	13. クレームとは																										
4. 肢体不自由の配慮1	14. クレーム対応の基本1																										
5. 肢体不自由の配慮2	15. クレーム対応の基本2																										
6. その他の障がい1	16. 事例研究1																										
7. その他の障がい2	17. 事例研究2																										
8. 対応方法	18. グループワーク1																										
9. グループワーク	19. グループワーク2																										
10. レポート作成	20. レポート作成																										
<p>[テキスト]</p> <p>官公庁、企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>																											
<p>[成績評価]</p> <p>ディスカッションでの発言等授業への取り組み状況、レポートおよびその発表内容、確認テストの点数を総合評価する。</p>																											

科目名	数的推理 I	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 1 | 41. 数的推理：損益算 4 |
| 2. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 2 | 42. 数的推理：損益算 5 |
| 3. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 3 | 43. 数的推理：損益算 6 |
| 4. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 4 | 44. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 1 |
| 5. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 5 | 45. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 2 |
| 6. 数的推理：方程式・不等式 (1) ～ (4) 6 | 46. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 3 |
| 7. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 1 | 47. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 4 |
| 8. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 2 | 48. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 5 |
| 9. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 3 | 49. 数的推理：時間・距離・速さ (1) ～ (6) 6 |
| 10. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 4 | 50. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 1 |
| 11. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 5 | 51. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 2 |
| 12. 数的推理：方程式・不等式 (5) ～ (7) 6 | 52. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 3 |
| 13. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 1 | 53. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 4 |
| 14. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 2 | 54. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 5 |
| 15. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 3 | 55. 数的推理：時間・距離・速さ (7) ～ (12) 6 |
| 16. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 4 | 56. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 1 |
| 17. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 5 | 57. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 2 |
| 18. 数的推理：方程式・不等式 (8) ～ (11) 6 | 58. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 3 |
| 19. 数的推理：数 1 | 59. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 4 |
| 20. 数的推理：数 2 | 60. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 5 |
| 21. 数的推理：数 3 | 61. 数的推理：時間・距離・速さ (13)・(14) 6 |
| 22. 数的推理：数 4 | 62. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 1 |
| 23. 数的推理：数 5 | 63. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 2 |
| 24. 数的推理：数 6 | 64. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 3 |
| 25. 数的推理：数列 1 | 65. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 4 |
| 26. 数的推理：数列 2 | 66. 数的推理：仕事算 (1)・(2)・(4) 5 |
| 27. 数的推理：数列 3 | 67. 数的推理：仕事算 (3) 1 |
| 28. 数的推理：数列 4 | 68. 数的推理：仕事算 (3) 2 |
| 29. 数的推理：魔法陣 1 | 69. 数的推理：仕事算 (3) 3 |
| 30. 数的推理：魔法陣 2 | 70. 数的推理：仕事算 (3) 4 |
| 31. 数的推理：魔法陣 3 | 71. 数的推理：総合演習 1 |
| 32. 数的推理：覆面算・虫食算 1 | 72. 数的推理：総合演習 2 |
| 33. 数的推理：覆面算・虫食算 2 | 73. 数的推理：総合演習 3 |
| 34. 数的推理：覆面算・虫食算 3 | 74. 数的推理：総合演習 4 |
| 35. 数的推理：比・割合 1 | 75. 数的推理：総合演習 5 |
| 36. 数的推理：比・割合 2 | 76. 数的推理：総合演習 6 |
| 37. 数的推理：比・割合 3 | 77. 数的推理：総合演習 7 |
| 38. 数的推理：損益算 1 | 78. 数的推理：総合演習 8 |
| 39. 数的推理：損益算 2 | 79. 数的推理：総合演習 9 |
| 40. 数的推理：損益算 3 | 80. 数的推理：総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 数的推理：場合の数 1 | 31. 数的推理：円 1 |
| 2. 数的推理：場合の数 2 | 32. 数的推理：円 2 |
| 3. 数的推理：場合の数 3 | 33. 数的推理：円 3 |
| 4. 数的推理：場合の数 4 | 34. 数的推理：円 4 |
| 5. 数的推理：場合の数 5 | 35. 数的推理：空間図形 1 |
| 6. 数的推理：場合の数 6 | 36. 数的推理：空間図形 2 |
| 7. 数的推理：確率 1 | 37. 数的推理：空間図形 3 |
| 8. 数的推理：確率 2 | 38. 数的推理：空間図形 4 |
| 9. 数的推理：確率 3 | 39. 数的推理：空間図形 5 |
| 10. 数的推理：確率 4 | 40. 数的推理：空間図形 6 |
| 11. 数的推理：確率 5 | 41. 数的推理：空間図形 7 |
| 12. 数的推理：確率 6 | 42. 数的推理：総合演習 1 |
| 13. 数的推理：測量 1 | 43. 数的推理：総合演習 2 |
| 14. 数的推理：測量 2 | 44. 数的推理：総合演習 3 |
| 15. 数的推理：測量 3 | 45. 数的推理：総合演習 4 |
| 16. 数的推理：測量 4 | 46. 数的推理：総合演習 5 |
| 17. 数的推理：暦 1 | 47. 数的推理：総合演習 6 |
| 18. 数的推理：暦 2 | 48. 数的推理：総合演習 7 |
| 19. 数的推理：暦 3 | 49. 数的推理：総合演習 8 |
| 20. 数的推理：図形の基礎 1 | 50. 数的推理：総合演習 9 |
| 21. 数的推理：図形の基礎 2 | 51. 数的推理：総合演習 10 |
| 22. 数的推理：図形の基礎 3 | 52. 数的推理：総合演習 11 |
| 23. 数的推理：図形の基礎 4 | 53. 数的推理：総合演習 12 |
| 24. 数的推理：三角形 1 | 54. 数的推理：総合演習 13 |
| 25. 数的推理：三角形 2 | 55. 数的推理：総合演習 14 |
| 26. 数的推理：三角形 3 | 56. 数的推理：総合演習 15 |
| 27. 数的推理：四角形・多角形 1 | 57. 数的推理：総合演習 16 |
| 28. 数的推理：四角形・多角形 2 | 58. 数的推理：総合演習 17 |
| 29. 数的推理：四角形・多角形 3 | 59. 数的推理：総合演習 18 |
| 30. 数的推理：四角形・多角形 4 | 60. 数的推理：総合演習 19 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理 I	開講年次	1 年	授業時数	80	単位数	4
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 判断推理：集合 1 | 41. 判断推理：数量推理 1 |
| 2. 判断推理：集合 2 | 42. 判断推理：数量推理 2 |
| 3. 判断推理：集合 3 | 43. 判断推理：数量推理 3 |
| 4. 判断推理：集合 4 | 44. 判断推理：数量推理 4 |
| 5. 判断推理：集合 5 | 45. 判断推理：数量推理 5 |
| 6. 判断推理：論理命題 1 | 46. 判断推理：手順 1 |
| 7. 判断推理：論理命題 2 | 47. 判断推理：手順 2 |
| 8. 判断推理：論理命題 3 | 48. 判断推理：手順 3 |
| 9. 判断推理：論理命題 4 | 49. 判断推理：集合 6 |
| 10. 判断推理：論理命題 5 | 50. 判断推理：集合 7 |
| 11. 判断推理：暗号 1 | 51. 判断推理：集合 8 |
| 12. 判断推理：暗号 2 | 52. 判断推理：集合 9 |
| 13. 判断推理：暗号 3 | 53. 判断推理：集合 10 |
| 14. 判断推理：暗号 4 | 54. 判断推理：論理命題 6 |
| 15. 判断推理：暗号 5 | 55. 判断推理：論理命題 7 |
| 16. 判断推理：対応関係 1 | 56. 判断推理：論理命題 8 |
| 17. 判断推理：対応関係 2 | 57. 判断推理：論理命題 9 |
| 18. 判断推理：対応関係 3 | 58. 判断推理：論理命題 10 |
| 19. 判断推理：対応関係 4 | 59. 空間把握：平面図形 1 |
| 20. 判断推理：対応関係 5 | 60. 空間把握：平面図形 2 |
| 21. 判断推理：試合と勝敗 1 | 61. 空間把握：平面図形 3 |
| 22. 判断推理：試合と勝敗 2 | 62. 空間把握：平面図形 4 |
| 23. 判断推理：試合と勝敗 3 | 63. 判断推理：暗号 6 |
| 24. 判断推理：試合と勝敗 4 | 64. 判断推理：暗号 7 |
| 25. 判断推理：試合と勝敗 5 | 65. 判断推理：暗号 8 |
| 26. 判断推理：証言推理 1 | 66. 判断推理：暗号 9 |
| 27. 判断推理：証言推理 2 | 67. 判断推理：暗号 10 |
| 28. 判断推理：証言推理 3 | 68. 空間把握：軌跡 1 |
| 29. 判断推理：証言推理 4 | 69. 空間把握：軌跡 2 |
| 30. 判断推理：証言推理 5 | 70. 空間把握：軌跡 3 |
| 31. 判断推理：順序関係 1 | 71. 総合演習 1 |
| 32. 判断推理：順序関係 2 | 72. 総合演習 2 |
| 33. 判断推理：順序関係 3 | 73. 総合演習 3 |
| 34. 判断推理：順序関係 4 | 74. 総合演習 4 |
| 35. 判断推理：順序関係 5 | 75. 総合演習 5 |
| 36. 判断推理：方位・位置 1 | 76. 総合演習 6 |
| 37. 判断推理：方位・位置 2 | 77. 総合演習 7 |
| 38. 判断推理：方位・位置 3 | 78. 総合演習 8 |
| 39. 判断推理：方位・位置 4 | 79. 総合演習 9 |
| 40. 判断推理：方位・位置 5 | 80. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	60	単位数	3
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面図形、展開図等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 判断推理：対応関係 1 | 31. 判断推理：方位・位置 1 |
| 2. 判断推理：対応関係 2 | 32. 判断推理：方位・位置 2 |
| 3. 判断推理：対応関係 3 | 33. 判断推理：方位・位置 3 |
| 4. 判断推理：対応関係 4 | 34. 判断推理：方位・位置 4 |
| 5. 判断推理：対応関係 5 | 35. 判断推理：方位・位置 5 |
| 6. 空間把握：投影図 1 | 36. 空間把握：立体図形 1 |
| 7. 空間把握：投影図 2 | 37. 空間把握：立体図形 2 |
| 8. 空間把握：投影図 3 | 38. 空間把握：立体図形 3 |
| 9. 空間把握：投影図 4 | 39. 空間把握：立体図形 4 |
| 10. 空間把握：投影図 5 | 40. 空間把握：立体図形 5 |
| 11. 判断推理：試合と勝敗 1 | 41. 判断推理：数量推理 1 |
| 12. 判断推理：試合と勝敗 2 | 42. 判断推理：数量推理 2 |
| 13. 判断推理：試合と勝敗 3 | 43. 判断推理：数量推理 3 |
| 14. 判断推理：証言推理 1 | 44. 判断推理：手順 1 |
| 15. 判断推理：証言推理 2 | 45. 判断推理：手順 2 |
| 16. 判断推理：証言推理 3 | 46. 判断推理：手順 3 |
| 17. 空間把握：展開図 1 | 47. 空間把握：位相・道順 1 |
| 18. 空間把握：展開図 2 | 48. 空間把握：位相・道順 2 |
| 19. 空間把握：展開図 3 | 49. 空間把握：位相・道順 3 |
| 20. 空間把握：展開図 4 | 50. 空間把握：位相・道順 4 |
| 21. 空間把握：展開図 5 | 51. 空間把握：位相・道順 5 |
| 22. 判断推理：順序関係 1 | 52. 判断推理・空間把握：総合演習 1 |
| 23. 判断推理：順序関係 2 | 53. 判断推理・空間把握：総合演習 2 |
| 24. 判断推理：順序関係 3 | 54. 判断推理・空間把握：総合演習 3 |
| 25. 判断推理：順序関係 4 | 55. 判断推理・空間把握：総合演習 4 |
| 26. 判断推理：順序関係 5 | 56. 判断推理・空間把握：総合演習 5 |
| 27. 空間把握：折り紙・サイコロ 1 | 57. 判断推理・空間把握：総合演習 6 |
| 28. 空間把握：折り紙・サイコロ 2 | 58. 判断推理・空間把握：総合演習 7 |
| 29. 空間把握：折り紙・サイコロ 3 | 59. 判断推理・空間把握：総合演習 8 |
| 30. 空間把握：折り紙・サイコロ 4 | 60. 判断推理・空間把握：総合演習 9 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析 I B	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 1 0 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 1 0 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 1 0 | 40. 総合演習 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習 I	開講年次	1 年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 1 0 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 1 0 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 1 0 | 40. 総合演習 1 0 |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の基礎を理解することを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 要旨把握 1
2. 要旨把握 2
3. 内容把握 1
4. 内容把握 2
5. 下線部把握 1
6. 下線部把握 2
7. 空欄補充 1
8. 空欄補充 2
9. 文章整序 1
10. 文章整序 2
11. 古文の内容把握 1
12. 古文の内容把握 2
13. 漢文の内容把握 1
14. 漢文の内容把握 2
15. 英文の内容把握 1
16. 英文の内容把握 2
17. 総合演習 1
18. 総合演習 2
19. 総合演習 3
20. 総合演習 4

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章に対する「基礎力」「読解力」「作成力」を総合的に身に着け、文章読解・作成能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 基礎力：語彙 1
2. 基礎力：語彙 2
3. 基礎力：文法 1
4. 基礎力：文法 2
5. 読解力：意味内容 1
6. 読解力：意味内容 2
7. 読解力：文章構成 1
8. 読解力：文章構成 2
9. 読解力：資料分析 1
10. 読解力：資料分析 2
11. 作成力（1）：表現 1
12. 作成力（1）：表現 2
13. 作成力（2）：総合 1
14. 作成力（2）：総合 2
15. 作成力（2）：通信文 1
16. 作成力（2）：通信文 2
17. 作成力（3）：総合 1
18. 作成力（3）：総合 2
19. 作成力（3）：意見文 1
20. 作成力（3）：意見文 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

文章読解・作成能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、基礎的な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

1. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 1
2. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 2
3. 基礎編：計算・分類・図形把握の形式 3
4. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 1
5. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 2
6. 基礎編：計算・照合・図形把握の形式 3
7. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 1
8. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 2
9. 基礎編：計算・置き換え・図形把握の形式 3
10. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 1
11. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 2
12. 基礎編：分類・照合・図形把握の形式 3
13. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 1
14. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 2
15. 基礎編：分類・置き換え・図形把握の形式 3
16. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 1
17. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 2
18. 基礎編：照合・置き換え・図形把握の形式等 3
19. 基礎編：総合演習 1
20. 基礎編：総合演習 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	企業研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (各業界を代表する企業の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職活動に伴う企業研究として、実際に活躍している各業界を代表する企業の人事担当者より、会社の特徴や仕事内容、採用試験、企業の求める人物像などについて講演をしていただき、実際の仕事概要等を深く理解することにより、今後の就職活動に向けて自ら考え、行動する力を養成する為、1年次1月に実施する。

〔講義・演習項目〕

1. 企業研究の方法 1
2. 企業研究の方法 2
3. 企業研究の方法 3
4. 参加する企業について事前研究 1
5. 参加する企業について事前研究 2
6. 参加する企業について事前研究 3
7. 参加する企業について事前研究 4
8. 参加する企業について事前研究 5
9. 参加する企業について事前研究 6
10. 各企業の人事担当者からのご講演 1
11. 各企業の人事担当者からのご講演 2
12. 各企業の人事担当者からのご講演 3
13. 各企業の人事担当者からのご講演 4
14. 各企業の人事担当者からのご講演 5
15. 各企業の人事担当者からのご講演 6
16. 各企業の人事担当者からのご講演 7
17. 各企業の人事担当者からのご講演 8
18. 参加した企業について事後研究 1
19. 参加した企業について事後研究 2
20. 参加した企業について事後研究 3

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

企業等が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	官公庁研究 I	開講年次	1 年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁の方々による2月に実施される業務説明会を通して、公務員の仕事概要等を深く理解することにより、今後希望する公務員試験に向けて考え行動する力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1. 官公庁研究の方法 1
2. 官公庁研究の方法 2
3. 官公庁研究の方法 3
4. 参加する官公庁について事前研究 1
5. 参加する官公庁について事前研究 2
6. 参加する官公庁について事前研究 3
7. 参加する官公庁について事前研究 4
8. 参加する官公庁について事前研究 5
9. 参加する官公庁について事前研究 6
10. 参加する官公庁について事前研究 7
11. 参加する官公庁について事前研究 8
12. 各官公庁の人事担当者からのご講演 1
13. 各官公庁の人事担当者からのご講演 2
14. 各官公庁の人事担当者からのご講演 3
15. 各官公庁の人事担当者からのご講演 4
16. 参加した官公庁について事後研究 1
17. 参加した官公庁について事後研究 2
18. 参加した官公庁について事後研究 3
19. 参加した官公庁について事後研究 4
20. 参加した官公庁について事後研究 5

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

官公庁が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、説明会における姿勢、レポート内容等を総合評価する。

科目名	ビジネス実務	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

ビジネス実務の遂行に必要な一般的な知識の習得および一般的な業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会人として必要とされる資質 1
2. 社会人として必要とされる資質 2
3. 企業知識および一般知識 1
4. 企業知識および一般知識 2
5. 社交としての文書の作成 1
6. 社交としての文書の作成 2
7. 社交としての文書の作成 3
8. 営業の文書の作成 1
9. 営業の文書の作成 2
10. 営業の文書の作成 3
11. 社内の一般文書の作成 1
12. 社内の一般文書の作成 2
13. 社内の一般文書の作成 3
14. 文書の取扱 1
15. 文書の取扱 2
16. 文書の取扱 3
17. 慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識 1
18. 慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識 2
19. 交際業務に関する知識 等 1
20. 交際業務に関する知識 等 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

ビジネス文書に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	トレーニング演習 I	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

筋力アップを目標に、正しい器具の使用法・効果的なエクササイズを学び、実践する。

〔講義・演習項目〕

1. オリエンテーション
2. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 1
3. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 2
4. 形態測定 1
5. 形態測定 2
6. 最大筋力の測定 1
7. 最大筋力の測定 2
8. 各自の目標設定 1
9. 各自の目標設定 2
10. 有酸素系マシンの使用法と実践 1
11. 有酸素系マシンの使用法と実践 2
12. 有酸素系マシンの使用法と実践 3
13. ウェイトトレーニングマシンの使用法と実践 1
14. ウェイトトレーニングマシンの使用法と実践 2
15. ウェイトトレーニングマシンの使用法と実践 3
16. 自重トレーニングの方法と実践 1
17. 自重トレーニングの方法と実践 2
18. 自重トレーニングの方法と実践 3
19. 口頭試問 1
20. 口頭試問 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	トレーニング演習Ⅱ	開講年次	1年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

トレーニング演習Ⅰを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて学び、また基本的なフリーウェイト種目も取り入れていく。

〔講義・演習項目〕

1. オリエンテーション
2. 上半身のエクササイズ 1
3. 上半身のエクササイズ 2
4. 上半身のエクササイズ 3
5. 上半身のエクササイズ 4
6. 下半身のエクササイズ 1
7. 下半身のエクササイズ 2
8. 下半身のエクササイズ 3
9. 下半身のエクササイズ 4
10. 効果的なトレーニング 1
11. 効果的なトレーニング 2
12. 効果的なトレーニング 3
13. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 1
14. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 2
15. 形態測定 1
16. 形態測定 2
17. 最大筋力の測定 1
18. 最大筋力の測定 2
19. 口頭試問 1
20. 口頭試問 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	数的推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力をより一層深いものにするために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 方程式・不等式 1 | 41. 仕事算 1 | 81. 四角形・多角形 6 |
| 2. 方程式・不等式 2 | 42. 仕事算 2 | 82. 円 1 |
| 3. 方程式・不等式 3 | 43. 仕事算 3 | 83. 円 2 |
| 4. 方程式・不等式 4 | 44. 仕事算 4 | 84. 円 3 |
| 5. 方程式・不等式 5 | 45. 仕事算 5 | 85. 円 4 |
| 6. 数 1 | 46. 場合の数 1 | 86. 円 5 |
| 7. 数 2 | 47. 場合の数 2 | 87. 空間図形 1 |
| 8. 数 3 | 48. 場合の数 3 | 88. 空間図形 2 |
| 9. 数 4 | 49. 場合の数 4 | 89. 空間図形 3 |
| 10. 数 5 | 50. 場合の数 5 | 90. 空間図形 4 |
| 11. 数列 1 | 51. 確率 1 | 91. 空間図形 5 |
| 12. 数列 2 | 52. 確率 2 | 92. 総合演習 1 |
| 13. 数列 3 | 53. 確率 3 | 93. 総合演習 2 |
| 14. 数列 4 | 54. 確率 4 | 94. 総合演習 3 |
| 15. 数列 5 | 55. 確率 5 | 95. 総合演習 4 |
| 16. 魔方陣 1 | 56. 測量 1 | 96. 総合演習 5 |
| 17. 魔方陣 2 | 57. 測量 2 | 97. 総合演習 6 |
| 18. 魔方陣 3 | 58. 測量 3 | 98. 総合演習 7 |
| 19. 魔方陣 4 | 59. 測量 4 | 99. 総合演習 8 |
| 20. 魔方陣 5 | 60. 測量 5 | 100. 総合演習 9 |
| 21. 覆面算・虫喰算 1 | 61. 暦 1 | |
| 22. 覆面算・虫喰算 2 | 62. 暦 2 | |
| 23. 覆面算・虫喰算 3 | 63. 暦 3 | |
| 24. 覆面算・虫喰算 4 | 64. 暦 4 | |
| 25. 覆面算・虫喰算 5 | 65. 暦 5 | |
| 26. 比・割合 1 | 66. 図形の基礎 1 | |
| 27. 比・割合 2 | 67. 図形の基礎 2 | |
| 28. 比・割合 3 | 68. 図形の基礎 3 | |
| 29. 比・割合 4 | 69. 図形の基礎 4 | |
| 30. 比・割合 5 | 70. 図形の基礎 5 | |
| 31. 損益算 1 | 71. 三角形 1 | |
| 32. 損益算 2 | 72. 三角形 2 | |
| 33. 損益算 3 | 73. 三角形 3 | |
| 34. 損益算 4 | 74. 三角形 4 | |
| 35. 損益算 5 | 75. 三角形 5 | |
| 36. 時間・距離・速さ 1 | 76. 四角形・多角形 1 | |
| 37. 時間・距離・速さ 2 | 77. 四角形・多角形 2 | |
| 38. 時間・距離・速さ 3 | 78. 四角形・多角形 3 | |
| 39. 時間・距離・速さ 4 | 79. 四角形・多角形 4 | |
| 40. 時間・距離・速さ 5 | 80. 四角形・多角形 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	判断推理演習	開講年次	2年	授業時数	100	単位数	5
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域および平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 集合 1 | 41. 数量推理 1 | 81. 立体図形 1 |
| 2. 集合 2 | 42. 数量推理 2 | 82. 立体図形 2 |
| 3. 集合 3 | 43. 数量推理 3 | 83. 立体図形 3 |
| 4. 集合 4 | 44. 数量推理 4 | 84. 立体図形 4 |
| 5. 集合 5 | 45. 数量推理 5 | 85. 立体図形 5 |
| 6. 論理命題 1 | 46. 手順 1 | 86. 位相・道順 1 |
| 7. 論理命題 2 | 47. 手順 2 | 87. 位相・道順 2 |
| 8. 論理命題 3 | 48. 手順 3 | 88. 位相・道順 3 |
| 9. 論理命題 4 | 49. 手順 4 | 89. 位相・道順 4 |
| 10. 論理命題 5 | 50. 手順 5 | 90. 位相・道順 5 |
| 11. 暗号 1 | 51. 平面図形 1 | 91. 総合演習 1 |
| 12. 暗号 2 | 52. 平面図形 2 | 92. 総合演習 2 |
| 13. 暗号 3 | 53. 平面図形 3 | 93. 総合演習 3 |
| 14. 暗号 4 | 54. 平面図形 4 | 94. 総合演習 4 |
| 15. 暗号 5 | 55. 平面図形 5 | 95. 総合演習 5 |
| 16. 対応関係 1 | 56. 軌跡 1 | 96. 総合演習 6 |
| 17. 対応関係 2 | 57. 軌跡 2 | 97. 総合演習 7 |
| 18. 対応関係 3 | 58. 軌跡 3 | 98. 総合演習 8 |
| 19. 対応関係 4 | 59. 軌跡 4 | 99. 総合演習 9 |
| 20. 対応関係 5 | 60. 軌跡 5 | 100. 総合演習 10 |
| 21. 試合と勝敗 1 | 61. 投影図 1 | |
| 22. 試合と勝敗 2 | 62. 投影図 2 | |
| 23. 試合と勝敗 3 | 63. 投影図 3 | |
| 24. 試合と勝敗 4 | 64. 投影図 4 | |
| 25. 試合と勝敗 5 | 65. 投影図 5 | |
| 26. 証言推理 1 | 66. 展開図 1 | |
| 27. 証言推理 2 | 67. 展開図 2 | |
| 28. 証言推理 3 | 68. 展開図 3 | |
| 29. 証言推理 4 | 69. 展開図 4 | |
| 30. 証言推理 5 | 70. 展開図 5 | |
| 31. 順序関係 1 | 71. 折り紙 1 | |
| 32. 順序関係 2 | 72. 折り紙 2 | |
| 33. 順序関係 3 | 73. 折り紙 3 | |
| 34. 順序関係 4 | 74. 折り紙 4 | |
| 35. 順序関係 5 | 75. 折り紙 5 | |
| 36. 方位・位置 1 | 76. サイコロ 1 | |
| 37. 方位・位置 2 | 77. サイコロ 2 | |
| 38. 方位・位置 3 | 78. サイコロ 3 | |
| 39. 方位・位置 4 | 79. サイコロ 4 | |
| 40. 方位・位置 5 | 80. サイコロ 5 | |

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	資料分析演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 実数・指数 1 | 21. 構成比 6 |
| 2. 実数・指数 2 | 22. 構成比 7 |
| 3. 実数・指数 3 | 23. 構成比 8 |
| 4. 実数・指数 4 | 24. 構成比 9 |
| 5. 実数・指数 5 | 25. 構成比 10 |
| 6. 構成比 1 | 26. 増加率・その他 6 |
| 7. 構成比 2 | 27. 増加率・その他 7 |
| 8. 構成比 3 | 28. 増加率・その他 8 |
| 9. 構成比 4 | 29. 増加率・その他 9 |
| 10. 構成比 5 | 30. 増加率・その他 10 |
| 11. 増加率・その他 1 | 31. 総合演習 1 |
| 12. 増加率・その他 2 | 32. 総合演習 2 |
| 13. 増加率・その他 3 | 33. 総合演習 3 |
| 14. 増加率・その他 4 | 34. 総合演習 4 |
| 15. 増加率・その他 5 | 35. 総合演習 5 |
| 16. 実数・指数 6 | 36. 総合演習 6 |
| 17. 実数・指数 7 | 37. 総合演習 7 |
| 18. 実数・指数 8 | 38. 総合演習 8 |
| 19. 実数・指数 9 | 39. 総合演習 9 |
| 20. 実数・指数 10 | 40. 総合演習 10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	文章研究Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 要旨把握 1 | 21. 古文の内容把握 1 |
| 2. 要旨把握 2 | 22. 古文の内容把握 2 |
| 3. 要旨把握 3 | 23. 古文の内容把握 3 |
| 4. 要旨把握 4 | 24. 古文の内容把握 4 |
| 5. 内容把握 1 | 25. 漢文の内容把握 1 |
| 6. 内容把握 2 | 26. 漢文の内容把握 2 |
| 7. 内容把握 3 | 27. 漢文の内容把握 3 |
| 8. 内容把握 4 | 28. 漢文の内容把握 4 |
| 9. 下線部把握 1 | 29. 英文の内容把握 1 |
| 10. 下線部把握 2 | 30. 英文の内容把握 2 |
| 11. 下線部把握 3 | 31. 英文の内容把握 3 |
| 12. 下線部把握 4 | 32. 英文の内容把握 4 |
| 13. 空欄補充 1 | 33. 総合演習 1 |
| 14. 空欄補充 2 | 34. 総合演習 2 |
| 15. 空欄補充 3 | 35. 総合演習 3 |
| 16. 空欄補充 4 | 36. 総合演習 4 |
| 17. 文章整序 1 | 37. 総合演習 5 |
| 18. 文章整序 2 | 38. 総合演習 6 |
| 19. 文章整序 3 | 39. 総合演習 7 |
| 20. 文章整序 4 | 40. 総合演習 8 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	社会学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会関係における地位と役割 1
2. 社会関係における地位と役割 2
3. 社会関係における地位と役割 3
4. 階級と階層 1
5. 階級と階層 2
6. 階級と階層 3
7. 社会変動論 1
8. 社会変動論 2
9. 社会変動論 3
10. 家族 1
11. 家族 2
12. 家族 3
13. 都市と農村 1
14. 都市と農村 2
15. 都市と農村 3
16. 都市と農村 4
17. 組織・管理論 等 1
18. 組織・管理論 等 2
19. 組織・管理論 等 3
20. 組織・管理論 等 4

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

社会学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	教育・心理学	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	講義
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 教育学：教育史 1
2. 教育学：教育史 2
3. 教育学：教育社会学 1
4. 教育学：教育社会学 2
5. 教育学：教育法規 1
6. 教育学：教育法規 2
7. 教育学：生涯学習 1
8. 教育学：生涯学習 2
9. 教育学：教育方法学 1
10. 教育学：教育方法学 2
11. 心理学：感覚・知覚 1
12. 心理学：感覚・知覚 2
13. 心理学：学習
14. 心理学：認知
15. 心理学：発達
16. 心理学：社会
17. 心理学：人格・臨床
18. 心理学：教育
19. 心理学：感情
20. 心理学：心理測定法

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

教育学・心理学に関する標準的なテキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、单元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	トレーニング演習Ⅲ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

トレーニング演習Ⅰ、Ⅱを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて深く学び、また実践的なフリーウェイト種目も取り入れ、公務員体力試験に則した内容を実践していく。

〔講義・演習項目〕

1. オリエンテーション
2. 自重トレーニングの実践 1
3. 自重トレーニングの実践 2
4. 自重トレーニングの実践 3
5. 効果的なトレーニング 1
6. 効果的なトレーニング 2
7. 効果的なトレーニング 3
8. 上半身のエクササイズ 1
9. 上半身のエクササイズ 2
10. 上半身のエクササイズ 3
11. 下半身のエクササイズ 1
12. 下半身のエクササイズ 2
13. 下半身のエクササイズ 3
14. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 1
15. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 2
16. 形態測定 1
17. 形態測定 2
18. 最大筋力の測定 1
19. 最大筋力の測定 2
20. 口頭試問

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施されるトレーニング課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	適性演習Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	40	単位数	2
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

適性演習Ⅰを踏まえて事務処理能力の基本である作業につき、計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、より複雑な問題についてスパイラル方式による演習を行う。

〔講義・演習項目〕

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 計算・分類・図形把握の形式1 | 21. 分類・置き換え・図形把握の形式1 |
| 2. 計算・分類・図形把握の形式2 | 22. 分類・置き換え・図形把握の形式2 |
| 3. 計算・分類・図形把握の形式3 | 23. 分類・置き換え・図形把握の形式3 |
| 4. 計算・分類・図形把握の形式4 | 24. 分類・置き換え・図形把握の形式4 |
| 5. 計算・分類・図形把握の形式5 | 25. 分類・置き換え・図形把握の形式5 |
| 6. 計算・照合・図形把握の形式1 | 26. 照合・置き換え・図形把握の形式等1 |
| 7. 計算・照合・図形把握の形式2 | 27. 照合・置き換え・図形把握の形式等2 |
| 8. 計算・照合・図形把握の形式3 | 28. 照合・置き換え・図形把握の形式等3 |
| 9. 計算・照合・図形把握の形式4 | 29. 照合・置き換え・図形把握の形式等4 |
| 10. 計算・照合・図形把握の形式5 | 30. 照合・置き換え・図形把握の形式等5 |
| 11. 計算・置き換え・図形把握の形式1 | 31. 総合演習1 |
| 12. 計算・置き換え・図形把握の形式2 | 32. 総合演習2 |
| 13. 計算・置き換え・図形把握の形式3 | 33. 総合演習3 |
| 14. 計算・置き換え・図形把握の形式4 | 34. 総合演習4 |
| 15. 計算・置き換え・図形把握の形式5 | 35. 総合演習5 |
| 16. 分類・照合・図形把握の形式1 | 36. 総合演習6 |
| 17. 分類・照合・図形把握の形式2 | 37. 総合演習7 |
| 18. 分類・照合・図形把握の形式3 | 38. 総合演習8 |
| 19. 分類・照合・図形把握の形式4 | 39. 総合演習9 |
| 20. 分類・照合・図形把握の形式5 | 40. 総合演習10 |

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

適性に関するプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。具体的には、単元ごとに実施する確認テスト（答練）が50%、学期末試験が50%の割合で評価する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	企業研究Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (各業界を代表する企業の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

就職活動に伴う企業研究として、実際に活躍している各業界を代表する企業の人事担当者より、会社の特徴や仕事内容、採用試験、企業の求める人物像などについて講演をしていただき、実際の仕事概要等を深く理解することにより、今後の就職活動に向けて自ら考え、行動する力を養成するため、2年次10月頃に実施する。

〔講義・演習項目〕

1. 企業研究の方法 1
2. 企業研究の方法 2
3. 企業研究の方法 3
4. 参加する企業について事前研究 1
5. 参加する企業について事前研究 2
6. 参加する企業について事前研究 3
7. 参加する企業について事前研究 4
8. 参加する企業について事前研究 5
9. 参加する企業について事前研究 6
10. 各企業の人事担当者からのご講演 1
11. 各企業の人事担当者からのご講演 2
12. 各企業の人事担当者からのご講演 3
13. 各企業の人事担当者からのご講演 4
14. 各企業の人事担当者からのご講演 5
15. 各企業の人事担当者からのご講演 6
16. 各企業の人事担当者からのご講演 7
17. 各企業の人事担当者からのご講演 8
18. 参加した企業について事後研究 1
19. 参加した企業について事後研究 2
20. 参加した企業について事後研究 3

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

企業等が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

各企業による説明会の前後に提出するレポート内容や出席等を総合して判断する。

科目名	官公庁研究Ⅱ	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	実務経験のある教員 (官公庁の人事担当者)				

〔講義主要目標及び講義概要〕

官公庁の方々による4月に実施される業務説明会を通して、公務員の仕事概要等を深く理解することにより、今後希望する公務員試験に向けて考え行動する力を養成する。

〔講義・演習項目〕

1. 官公庁研究の方法1
2. 官公庁研究の方法2
3. 官公庁研究の方法3
4. 参加する官公庁について事前研究1
5. 参加する官公庁について事前研究2
6. 参加する官公庁について事前研究3
7. 参加する官公庁について事前研究4
8. 参加する官公庁について事前研究5
9. 参加する官公庁について事前研究6
10. 参加する官公庁について事前研究7
11. 参加する官公庁について事前研究8
12. 各官公庁の人事担当者からのご講演1
13. 各官公庁の人事担当者からのご講演2
14. 各官公庁の人事担当者からのご講演3
15. 各官公庁の人事担当者からのご講演4
16. 参加した官公庁について事後研究1
17. 参加した官公庁について事後研究2
18. 参加した官公庁について事後研究3
19. 参加した官公庁について事後研究4
20. 参加した官公庁について事後研究5

※ 時数不足の場合は課題として提出

〔テキスト〕

官公庁が準備するパンフレットおよび種々の資料を中心とする。

〔成績評価〕

官公庁による業務説明会終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のレポート、出席等を総合して判断する。

科目名	コンピュータ演習	開講年次	2年	授業時数	20	単位数	1
		種 類	専門科目	分 類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

コンピュータの起動、文字入力、表計算、ファイルの操作、印刷、データの保存等の基本操作の習得を目指す。また、コンピュータおよび関連知識についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. コンピュータの仕組みと操作 1
2. コンピュータの仕組みと操作 2
3. コンピュータの仕組みと操作 3
4. データの入力 1
5. データの入力 2
6. データの入力 3
7. 表計算等のデータの処理 1
8. 表計算等のデータの処理 2
9. 表計算等のデータの処理 3
10. ファイルの操作 1
11. ファイルの操作 2
12. ファイルの操作 3
13. データの印刷 1
14. データの印刷 2
15. データの印刷 3
16. データの保存 1
17. データの保存 2
18. データの保存 3
19. 総合 1
20. 総合 2

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

情報処理に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される課題の進捗状況、種々のテスト、出席等を総合して判断する。ただし、出席時数が授業時間の3分の2に達しない者は、評価を受けることができない。

科目名	卒業研究	開講年次	2年	授業時数	160	単位数	8
		種類	専門科目	分類	選択必修	授業方法	演習
		担当教員	本学職員				

〔講義主要目標及び講義概要〕

専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。

〔講義・演習項目〕

1. 卒業研究概要 1	41. 下書き作成 1 6	81. 下書き作成 5 6	121. 清書作成 2 1
2. 卒業研究概要 2	42. 下書き作成 1 7	82. 下書き作成 5 7	122. 清書作成 2 2
3. 卒業研究概要 3	43. 下書き作成 1 8	83. 下書き作成 5 8	123. 清書作成 2 3
4. 卒業研究概要 4	44. 下書き作成 1 9	84. 下書き作成 5 9	124. 清書作成 2 4
5. 卒業研究概要 5	45. 下書き作成 2 0	85. 下書き作成 6 0	125. 清書作成 2 5
6. テーマの研究 1	46. 下書き作成 2 1	86. 下書き作成 6 1	126. 清書作成 2 6
7. テーマの研究 2	47. 下書き作成 2 2	87. 下書き作成 6 2	127. 清書作成 2 7
8. テーマの研究 3	48. 下書き作成 2 3	88. 下書き作成 6 3	128. 清書作成 2 8
9. テーマの研究 4	49. 下書き作成 2 4	89. 下書き作成 6 4	129. 清書作成 2 9
10. テーマの研究 5	50. 下書き作成 2 5	90. 下書き作成 6 5	130. 清書作成 3 0
11. 情報収集 1	51. 下書き作成 2 6	91. 下書き作成 6 6	131. 清書作成 3 1
12. 情報収集 2	52. 下書き作成 2 7	92. 下書き作成 6 7	132. 清書作成 3 2
13. 情報収集 3	53. 下書き作成 2 8	93. 下書き作成 6 8	133. 清書作成 3 3
14. 情報収集 4	54. 下書き作成 2 9	94. 下書き作成 6 9	134. 清書作成 3 4
15. 情報収集 5	55. 下書き作成 3 0	95. 下書き作成 7 0	135. 清書作成 3 5
16. 情報収集 6	56. 下書き作成 3 1	96. 下書き作成 7 1	136. 清書作成 3 6
17. 情報収集 7	57. 下書き作成 3 2	97. 下書き作成 7 2	137. 清書作成 3 7
18. 情報収集 8	58. 下書き作成 3 3	98. 下書き作成 7 3	138. 清書作成 3 8
19. 情報収集 9	59. 下書き作成 3 4	99. 下書き作成 7 4	139. 清書作成 3 9
20. 情報収集 1 0	60. 下書き作成 3 5	100. 下書き作成 7 5	140. 清書作成 4 0
21. 情報収集 1 1	61. 下書き作成 3 6	101. 清書作成 1	141. 清書作成 4 1
22. 情報収集 1 2	62. 下書き作成 3 7	102. 清書作成 2	142. 清書作成 4 2
23. 情報収集 1 3	63. 下書き作成 3 8	103. 清書作成 3	143. 清書作成 4 3
24. 情報収集 1 4	64. 下書き作成 3 9	104. 清書作成 4	144. 清書作成 4 4
25. 情報収集 1 5	65. 下書き作成 4 0	105. 清書作成 5	145. 清書作成 4 5
26. 下書き作成 1	66. 下書き作成 4 1	106. 清書作成 6	146. 清書作成 4 6
27. 下書き作成 2	67. 下書き作成 4 2	107. 清書作成 7	147. 清書作成 4 7
28. 下書き作成 3	68. 下書き作成 4 3	108. 清書作成 8	148. 清書作成 4 8
29. 下書き作成 4	69. 下書き作成 4 4	109. 清書作成 9	149. 清書作成 4 9
30. 下書き作成 5	70. 下書き作成 4 5	110. 清書作成 1 0	150. 清書作成 5 0
31. 下書き作成 6	71. 下書き作成 4 6	111. 清書作成 1 1	151. 清書作成 5 1
32. 下書き作成 7	72. 下書き作成 4 7	112. 清書作成 1 2	152. 清書作成 5 2
33. 下書き作成 8	73. 下書き作成 4 8	113. 清書作成 1 3	153. 清書作成 5 3
34. 下書き作成 9	74. 下書き作成 4 9	114. 清書作成 1 4	154. 清書作成 5 4
35. 下書き作成 1 0	75. 下書き作成 5 0	115. 清書作成 1 5	155. 清書作成 5 5
36. 下書き作成 1 1	76. 下書き作成 5 1	116. 清書作成 1 6	156. 清書作成 5 6
37. 下書き作成 1 2	77. 下書き作成 5 2	117. 清書作成 1 7	157. 清書作成 5 7
38. 下書き作成 1 3	78. 下書き作成 5 3	118. 清書作成 1 8	158. 清書作成 5 8
39. 下書き作成 1 4	79. 下書き作成 5 4	119. 清書作成 1 9	159. 清書作成 5 9
40. 下書き作成 1 5	80. 下書き作成 5 5	120. 清書作成 2 0	160. 製本 等

※ 時数不足の場合は課題として提出。

〔テキスト〕

各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。

〔成績評価〕

あらかじめ定められている手順・スケジュールにのっとり作成されているか等を考慮しつつ、論文の内容を総合判断して評価する。